

令和6年度

小学校避難所空調設備設置工事 設計図

01. 粕壁小学校
02. 正善小学校
03. 藤塚小学校
04. 小淵小学校
05. 川辺小学校

春日部市 学校教育部 教育施設課

小学校避難所空調設備設置工事（粕壁小学校）

建 築		電 気		機 械	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
共通-01	特記仕様書 1	共通-06	特記仕様書 6 電気設備工事	共通-07	特記仕様書 7 機械設備工事
共通-02	特記仕様書 2	E-01	受変電設備 単線結線図・姿図（撤去）	共通-08	特記仕様書 8 機械設備工事
共通-03	特記仕様書 3	E-02	受変電設備 単線結線図・姿図（新設）	共通-09	特記仕様書 9 機械設備工事
共通-04	特記仕様書 4	E-03	結線図・分電盤図	M-01	空調換気設備 機器表 参考図
共通-05	特記仕様書 5	E-04	幹線設備 改修 外構図	M-02	空調換気設備 1階平面図
A-01	案内図・配置図	E-05	幹線設備 改修 平面図	M-03	空調設備 断面図
A-02	仕上表	E-06	電灯設備 改修 体育館 平面図	M-04	空調設備 展開図
A-03	平面図	E-07	電灯設備 撤去 体育館 平面図	M-05	空調設備 立面図1
A-04	上部平面図			M-06	空調設備 立面図2
A-05	立面図 1			M-07	制御設備 1階平面図
A-06	立面図 2				
A-07	断面図 1				
A-08	断面図 2・矩計図				
A-09	建具キープラン				
A-10	建具表				
A-11	雑詳細図1				
A-12	雑詳細図2				
A-13	雑詳細図3				
A-14	雑詳細図4				
A-15	仮設計画図				

③ 防水改修工事	1 施工数量調査 2 降雨等に対する養生方法(とい共) 3 既存防水の処理 4 既存下地の処理 5 アスファルト防水 6 改質アスファルトシート防水 7 合成高分子系ルーフィングシート防水 8 塗膜防水	④ シーリング シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ポンドブローカー張り ・適用する ・適用しない ・エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。
	10 とい 11 アルミニウム製並木 12 防水工事施工業	⑤ ガラス 適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 ・フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・型板ガラス 型板ガラスの厚さによる種類 ・網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 破片の状態及び ショットバック衝撃特性による種類 ・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ 断熱性による区分 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 乾燥気体の種類 ⑥ ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル ・図示による 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・図示による 樹脂製 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による ・図示による 20 ガラスブロック ⑦ ガラス用フィルム ※施工箇所は建具表による
④ 外壁改修工事		
⑤ 建具改修工事	1 改修工法 2 防火戸 3 見本の製作等 4 防犯建物部品 5 アルミニウム製建具 6 網戸等 7 樹脂製建具 8 鋼製建具 9 鋼製軽量建具 10 ステンレス製建具 11 木製建具 12 建具用金物 13 鍵 14 自動ドア開閉装置 15 自閉式上吊り引戸装置 16 重量シャッター 17 軽量シャッター 18 オーバーヘッドドア ⑨ ガラス	

⑥ 内装改修工事	① 改修範囲 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示	② 既存床の撤去及び下地補修 ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・除去範囲(全て) ・下地モルタルとも(・図示の範囲) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内
	③ 既存壁の撤去及び下地補修 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4.3.10]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の措置 ※図示) ・図示	④ 施工一般
6 造作用集成材 7 造作用単板積層材	⑧ 合板等 ・「合板の日本産林規格」による普通合板 ⑨ 合板等 ・「合板の日本産林規格」による構造用合板 ⑩ 接合具等 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘埋めの木 ・つぶし頭釘打ち ・釘埋めし 鎌金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) (形状: 寸法: 材質:) ⑪ 接着剤 接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.3.4] ⑫ 防蟻・防蟻処理 間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松 床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) ※杉又は松	⑬ 窓、出入口その他 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) 吊元時、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき その他 ※松又は杉 ⑭ 軽量鉄骨天井下地 野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) 屋外の形式及び寸法 野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔 ・図示 周辺部の端からの間隔 ・図示 野縁の間隔 ・図示 既存の埋込みインサート ・使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※壁内の場合、当該階において3箇所 () 箇所 引張試験にて確認する強度 ※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の 単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400N程度 () ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井のふところ高が3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示
15 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)による	

16 ビニル床シート	[6.8.2.3] ① 種類 ② 色柄 ③ 厚さ(mm) ④ 備考 ⑤ 接合部の処理 ※熱溶接工法 ⑥ 種類 ⑦ 色柄 ⑧ 厚さ(mm) ⑨ 備考 ⑩ 接合部の処理 ※熱溶接工法	17 ビニル床タイル ① 種類 ② 色柄 ③ 厚さ(mm) ④ 備考 ⑤ 種類 ⑥ 色柄 ⑦ 厚さ(mm) ⑧ 備考 ⑨ 種類 ⑩ 色柄 ⑪ 厚さ(mm) ⑫ 備考 ⑬ 種類 ⑭ 色柄 ⑮ 厚さ(mm) ⑯ 備考 ⑰ 種類 ⑱ 色柄 ⑲ 厚さ(mm) ⑳ 備考 ⑳ 種類 ㉑ 色柄 ㉒ 厚さ(mm) ㉓ 備考 ㉔ 種類 ㉕ 色柄 ㉖ 厚さ(mm) ㉗ 備考 ㉘ 種類 ㉙ 色柄 ㉚ 厚さ(mm) ㉛ 備考 ㉜ 種類 ㉝ 色柄 ㉞ 厚さ(mm) ㉟ 備考 ㊱ 種類 ㊲ 色柄 ㊳ 厚さ(mm) ㊴ 備考 ㊵ 種類 ㊶ 色柄 ㊷ 厚さ(mm) ㊸ 備考 ㊹ 種類 ㊺ 色柄 ㊻ 厚さ(mm) ㊼ 備考 ㊽ 種類 ㊾ 色柄 ㊿ 厚さ(mm) 備考
18 特殊機能床材	材質の種類 ・軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2] 高さ(mm) ※60 ・75 ・100 厚さ(mm) ※1.5以上	19 ビニル幅木 種類 ・単層品 ・積層品 色柄 () 厚さ(mm) ※3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) () × ()
20 ゴム床タイル	[6.8.2.2] ① 種類 ② 色柄 ③ 厚さ(mm) ④ 備考 ⑤ 種類 ⑥ 色柄 ⑦ 厚さ(mm) ⑧ 備考 ⑨ 種類 ⑩ 色柄 ⑪ 厚さ(mm) ⑫ 備考 ⑬ 種類 ⑭ 色柄 ⑮ 厚さ(mm) ⑯ 備考 ⑰ 種類 ⑱ 色柄 ⑲ 厚さ(mm) ⑳ 備考 ㉑ 種類 ㉒ 色柄 ㉓ 厚さ(mm) ㉔ 備考 ㉕ 種類 ㉖ 色柄 ㉗ 厚さ(mm) ㉘ 備考 ㉙ 種類 ㉚ 色柄 ㉛ 厚さ(mm) ㉜ 備考 ㉝ 種類 ㉞ 色柄 ㉟ 厚さ(mm) ㊱ 備考 ㊲ 種類 ㊳ 色柄 ㊴ 厚さ(mm) ㊵ 備考 ㊶ 種類 ㊷ 色柄 ㊸ 厚さ(mm) ㊹ 備考 ㊺ 種類 ㊻ 色柄 ㊼ 厚さ(mm) ㊽ 備考 ㊾ 種類 ㊿ 色柄 備考	
21 カーベツト敷き	[6.10.2.3] ① 種類 ② 施工箇所 ③ 工法 ④ 仕上げの種類 ⑤ 種類 ⑥ 色柄 ⑦ 厚さ(mm) ⑧ 備考 ⑨ 種類 ⑩ 色柄 ⑪ 厚さ(mm) ⑫ 備考 ⑬ 種類 ⑭ 色柄 ⑮ 厚さ(mm) ⑯ 備考 ⑰ 種類 ⑱ 色柄 ⑲ 厚さ(mm) ⑳ 備考 ㉑ 種類 ㉒ 色柄 ㉓ 厚さ(mm) ㉔ 備考 ㉕ 種類 ㉖ 色柄 ㉗ 厚さ(mm) ㉘ 備考 ㉙ 種類 ㉚ 色柄 ㉛ 厚さ(mm) ㉜ 備考 ㉝ 種類 ㉞ 色柄 ㉟ 厚さ(mm) ㊱ 備考 ㊲ 種類 ㊳ 色柄 ㊴ 厚さ(mm) ㊵ 備考 ㊶ 種類 ㊷ 色柄 ㊸ 厚さ(mm) ㊹ 備考 ㊺ 種類 ㊻ 色柄 ㊼ 厚さ(mm) ㊽ 備考 ㊾ 種類 ㊿ 色柄 備考	
22 合成樹脂塗床	① 種類 ② 施工箇所 ③ 工法 ④ 仕上げの種類 ⑤ 種類 ⑥ 色柄 ⑦ 厚さ(mm) ⑧ 備考 ⑨ 種類 ⑩ 色柄 ⑪ 厚さ(mm) ⑫ 備考 ⑬ 種類 ⑭ 色柄 ⑮ 厚さ(mm) ⑯ 備考 ⑰ 種類 ⑱ 色柄 ⑲ 厚さ(mm) ⑳ 備考 ㉑ 種類 ㉒ 色柄 ㉓ 厚さ(mm) ㉔ 備考 ㉕ 種類 ㉖ 色柄 ㉗ 厚さ(mm) ㉘ 備考 ㉙ 種類 ㉚ 色柄 ㉛ 厚さ(mm) ㉜ 備考 ㉝ 種類 ㉞ 色柄 ㉟ 厚さ(mm) ㊱ 備考 ㊲ 種類 ㊳ 色柄 ㊴ 厚さ(mm) ㊵ 備考 ㊶ 種類 ㊷ 色柄 ㊸ 厚さ(mm) ㊹ 備考 ㊺ 種類 ㊻ 色柄 ㊼ 厚さ(mm) ㊽ 備考 ㊾ 種類 ㊿ 色柄 備考	
23 フローリング張り	フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※改修標準仕様書6.11.2.(2)による 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 単層フローリング(フローリングボード1等) 工法 ・釘止め工法(・根太張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 開伐材等の適用 ・しない 単層フローリング(フローリングブロック1等) 樹種 厚さ(mm) ・ 大きさ ・ 開伐材等の適用 ・する ・しない 複合フローリング 工法 ・釘止め工法(・根太張り ・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 種類 ・A種 ・B種 ・C種 開伐材等の適用 ・する ・しない 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り	24 畳敷き MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2.3] ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(f)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 木質系セメント板 ① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 硬質(HW) ④ 中質(MW) ⑤ 普通(NW) ⑥ 種類 ⑦ 厚さ(mm)、規格等 ⑧ 硬質(HF) ⑨ 中質(MF) ⑩ 普通(NF) ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ けい酸カルシウム板 ⑭ けい酸カルシウム板 ⑮ けい酸カルシウム板 ⑯ けい酸カルシウム板 ⑰ けい酸カルシウム板 ⑱ けい酸カルシウム板 ⑲ けい酸カルシウム板 ⑳ けい酸カルシウム板 ㉑ けい酸カルシウム板 ㉒ けい酸カルシウム板 ㉓ けい酸カルシウム板 ㉔ けい酸カルシウム板 ㉕ けい酸カルシウム板 ㉖ けい酸カルシウム板 ㉗ けい酸カルシウム板 ㉘ けい酸カルシウム板 ㉙ けい酸カルシウム板 ㉚ けい酸カルシウム板 ㉛ けい酸カルシウム板 ㉜ けい酸カルシウム板 ㉝ けい酸カルシウム板 ㉞ けい酸カルシウム板 ㉟ けい酸カルシウム板 ㊱ けい酸カルシウム板 ㊲ けい酸カルシウム板 ㊳ けい酸カルシウム板 ㊴ けい酸カルシウム板 ㊵ けい酸カルシウム板 ㊶ けい酸カルシウム板 ㊷ けい酸カルシウム板 ㊸ けい酸カルシウム板 ㊹ けい酸カルシウム板 ㊺ けい酸カルシウム板 ㊻ けい酸カルシウム板 ㊼ けい酸カルシウム板 ㊽ けい酸カルシウム板 ㊾ けい酸カルシウム板 ㊿ けい酸カルシウム板 備考
25 せっこうボード その他のボード張り	[6.13.2.3] ① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 硬質(HW) ④ 中質(MW) ⑤ 普通(NW) ⑥ 種類 ⑦ 厚さ(mm)、規格等 ⑧ 硬質(HF) ⑨ 中質(MF) ⑩ 普通(NF) ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ けい酸カルシウム板 ⑭ けい酸カルシウム板 ⑮ けい酸カルシウム板 ⑯ けい酸カルシウム板 ⑰ けい酸カルシウム板 ⑱ けい酸カルシウム板 ⑲ けい酸カルシウム板 ⑳ けい酸カルシウム板 ㉑ けい酸カルシウム板 ㉒ けい酸カルシウム板 ㉓ けい酸カルシウム板 ㉔ けい酸カルシウム板 ㉕ けい酸カルシウム板 ㉖ けい酸カルシウム板 ㉗ けい酸カルシウム板 ㉘ けい酸カルシウム板 ㉙ けい酸カルシウム板 ㉚ けい酸カルシウム板 ㉛ けい酸カルシウム板 ㉜ けい酸カルシウム板 ㉝ けい酸カルシウム板 ㉞ けい酸カルシウム板 ㉟ けい酸カルシウム板 ㊱ けい酸カルシウム板 ㊲ けい酸カルシウム板 ㊳ けい酸カルシウム板 ㊴ けい酸カルシウム板 ㊵ けい酸カルシウム板 ㊶ けい酸カルシウム板 ㊷ けい酸カルシウム板 ㊸ けい酸カルシウム板 ㊹ けい酸カルシウム板 ㊺ けい酸カルシウム板 ㊻ けい酸カルシウム板 ㊼ けい酸カルシウム板 ㊽ けい酸カルシウム板 ㊾ けい酸カルシウム板 ㊿ けい酸カルシウム板 備考	

26 壁紙張り	① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考	27 モルタル塗り モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 [6.15.3.5.6] 既製目地材 ・設ける () 形状(※図示) ・設けない 床目地 ・設ける 目地割り ※2m程度(最大目地間隔3m程度) ・設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ※図示による
28 タイル張り 33 トイレブース	① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考	29 セルフレリング材塗り 30 フリアアクセスフロア 31 可動間仕切 32 移動間仕切 ① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考
⑨ 手すり	① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考	30 階段滑り止め 36 黒板及びホワイトボード 37 表示 ① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考
38 タラップ 39 ブラインド 40 ロールスクリーン 41 カーテン	① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考	42 カーテンレール ① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考
43 ブラインドボックス 及びカーテンボックス	① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考	44 天井点検口 ① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考
45 床点検口 52 収納家具	① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考	46 くつふきマット 47 流し台ユニット 48 鋼製書架及び品物棚 49 室内掲示板 50 洗面カウンター 51 防煙垂れ壁 ① 種類 ② 厚さ(mm)、規格等 ③ 種類 ④ 厚さ(mm)、規格等 ⑤ 種類 ⑥ 厚さ(mm)、規格等 ⑦ 種類 ⑧ 厚さ(mm)、規格等 ⑨ 種類 ⑩ 厚さ(mm)、規格等 ⑪ 種類 ⑫ 厚さ(mm)、規格等 ⑬ 種類 ⑭ 厚さ(mm)、規格等 ⑮ 種類 ⑯ 厚さ(mm)、規格等 ⑰ 種類 ⑱ 厚さ(mm)、規格等 ⑲ 種類 ⑳ 厚さ(mm)、規格等 ㉑ 種類 ㉒ 厚さ(mm)、規格等 ㉓ 種類 ㉔ 厚さ(mm)、規格等 ㉕ 種類 ㉖ 厚さ(mm)、規格等 ㉗ 種類 ㉘ 厚さ(mm)、規格等 ㉙ 種類 ㉚ 厚さ(mm)、規格等 ㉛ 種類 ㉜ 厚さ(mm)、規格等 ㉝ 種類 ㉞ 厚さ(mm)、規格等 ㉟ 種類 ㊱ 厚さ(mm)、規格等 ㊲ 種類 ㊳ 厚さ(mm)、規格等 ㊴ 種類 ㊵ 厚さ(mm)、規格等 ㊶ 種類 ㊷ 厚さ(mm)、規格等 ㊸ 種類 ㊹ 厚さ(mm)、規格等 ㊺ 種類 ㊻ 厚さ(mm)、規格等 ㊼ 種類 ㊽ 厚さ(mm)、規格等 ㊾ 種類 ㊿ 厚さ(mm)、規格等 備考

⑦ 塗装改修工事	① 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3]</p> <p>防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)</p> <p>塗替えR1種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す。・図示 [7.2.1~7]</p> <p>下地調整</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>塗替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※不透明塗料塗りの場合はRB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>・RA種(注) ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>珪藻土、せっこうフラスコ面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>A.L.C.パネル面</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RA種(注)</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>・RA種(注)</td> <td>・行う</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>・RA種 ※RB種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>(注)DP以外からDPへ塗替えする場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。</p>	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修	木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—	—	鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—	—	亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—	—	亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—	—	珪藻土、せっこうフラスコ面	・RA種 ※RB種	—	—	コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない	A.L.C.パネル面	—	—	・行わない	押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う	・行わない	コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う	・行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—	—
	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修																																										
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—	—																																											
鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種	—	—																																											
亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種	—	—																																											
亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種	—	—																																											
珪藻土、せっこうフラスコ面	・RA種 ※RB種	—	—																																											
コンクリート面(DP以外)	・RA種 ※RB種	・行う	・行わない																																											
A.L.C.パネル面	—	—	・行わない																																											
押出成形セメント板面	・RA種(注)	・行う	・行わない																																											
コンクリート面(DP)	・RA種(注)	・行う	・行わない																																											
せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ※RB種	—	—																																											
② 下地調整	③ 素地ごしらえ	<p>[7.3.2~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面等</th> <th>塗料の種類</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td>—</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td>—</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>—</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>珪藻土面及びせっこうフラスコ面</td> <td>—</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)及びA.L.C.パネル面</td> <td>—</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)及びコンクリート面(DP)</td> <td>—</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DPのみ)</td> <td>—</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>目地: 縦目処理工法</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地: 縦目処理工法以外</td> <td>・ A種 ※B種</td> </tr> </table>	下地面等	塗料の種類	種類	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種		透明塗料塗りの場合	※A種 ※B種	鉄鋼面(DP以外)	—	・ A種 ・ B種 ※C種	鉄鋼面(DP)	—	・ A種 ・ B種 ・ C種	亜鉛めっき面	—	・ A種 ・ B種	珪藻土面及びせっこうフラスコ面	—	・ A種 ※B種	コンクリート面(DP以外)及びA.L.C.パネル面	—	・ A種 ※B種	コンクリート面(DP)及びコンクリート面(DP)	—	・ A種 ・ B種	コンクリート面(DPのみ)	—	・ A種 ※B種	せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 縦目処理工法	※A種 ・ B種		目地: 縦目処理工法以外	・ A種 ※B種								
下地面等	塗料の種類	種類																																												
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種																																												
	透明塗料塗りの場合	※A種 ※B種																																												
鉄鋼面(DP以外)	—	・ A種 ・ B種 ※C種																																												
鉄鋼面(DP)	—	・ A種 ・ B種 ・ C種																																												
亜鉛めっき面	—	・ A種 ・ B種																																												
珪藻土面及びせっこうフラスコ面	—	・ A種 ※B種																																												
コンクリート面(DP以外)及びA.L.C.パネル面	—	・ A種 ※B種																																												
コンクリート面(DP)及びコンクリート面(DP)	—	・ A種 ・ B種																																												
コンクリート面(DPのみ)	—	・ A種 ※B種																																												
せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 縦目処理工法	※A種 ・ B種																																												
	目地: 縦目処理工法以外	・ A種 ※B種																																												

⑧ 環境配慮改修工事	① 石綿粉じん濃度測定	<p>測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定名称</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> </tr> <tr> <td>※ 測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・各2又は3点()点</td> </tr> <tr> <td>※ 測定2</td> <td>処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・各2点()点</td> </tr> <tr> <td>※ 測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・各2点()点</td> </tr> <tr> <td>※ 測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>出入口</td> <td>・各1点()点</td> </tr> <tr> <td>※ 測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の設置の排出口</td> <td>出口吹出し高さ1m以下の位置</td> </tr> <tr> <td>※ 測定6</td> <td>処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・各2点()点</td> </tr> <tr> <td>※ 測定7</td> <td>処理作業後(隔離)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・各2点()点</td> </tr> <tr> <td>※ 測定8</td> <td>処理作業後(隔離)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>※ 測定9</td> <td>処理作業後(1週間以降)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・各1点()点</td> </tr> <tr> <td>※ 測定10</td> <td>処理作業後(1週間以降)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・各1点()点</td> </tr> </table> <p>さいたま市で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。</p> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動測定器による測定 測定4.5 ※A 粉じん相対湿度計(デジタル粉じん計)、繊維状粒子粒子自動計測器(97A47A1A-1000)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定 <table border="1"> <tr> <th>JIS K 3850-11に基づいた測定</th> <th>測定4.5</th> <th>測定</th> <th>測定</th> </tr> <tr> <td>フッ素樹脂の直径(mm)</td> <td>25</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>30</td> <td>120</td> <td>240</td> </tr> </table>	測定時期	測定名称	測定場所	測定点	※ 測定1	処理作業前	処理作業室内	・各2又は3点()点	※ 測定2	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	・各2点()点	※ 測定3	処理作業中	処理作業室内	・各2点()点	※ 測定4	処理作業中	出入口	・各1点()点	※ 測定5	処理作業中	集じん・排気装置の設置の排出口	出口吹出し高さ1m以下の位置	※ 測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	・各2点()点	※ 測定7	処理作業後(隔離)	処理作業室内	・各2点()点	※ 測定8	処理作業後(隔離)	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点	※ 測定9	処理作業後(1週間以降)	処理作業室内	・各1点()点	※ 測定10	処理作業後(1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	・各1点()点	JIS K 3850-11に基づいた測定	測定4.5	測定	測定	フッ素樹脂の直径(mm)	25	47	47	試料の吸引流量(L/min)	5	10	10	試料の吸引時間(min)	30	120	240
	測定時期	測定名称	測定場所	測定点																																																										
※ 測定1	処理作業前	処理作業室内	・各2又は3点()点																																																											
※ 測定2	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	・各2点()点																																																											
※ 測定3	処理作業中	処理作業室内	・各2点()点																																																											
※ 測定4	処理作業中	出入口	・各1点()点																																																											
※ 測定5	処理作業中	集じん・排気装置の設置の排出口	出口吹出し高さ1m以下の位置																																																											
※ 測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	・各2点()点																																																											
※ 測定7	処理作業後(隔離)	処理作業室内	・各2点()点																																																											
※ 測定8	処理作業後(隔離)	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点																																																											
※ 測定9	処理作業後(1週間以降)	処理作業室内	・各1点()点																																																											
※ 測定10	処理作業後(1週間以降)	施工区画周辺又は敷地境界	・各1点()点																																																											
JIS K 3850-11に基づいた測定	測定4.5	測定	測定																																																											
フッ素樹脂の直径(mm)	25	47	47																																																											
試料の吸引流量(L/min)	5	10	10																																																											
試料の吸引時間(min)	30	120	240																																																											
② 石綿含有吹付け材の除去(レベル1)	③ 石綿含有保温材等の除去(レベル2)	④ 石綿含有成形板の除去(レベル3)	⑤ 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)																																																											

10 透水性アスファルト舗装改修工事	適用範囲: 【武里南小学校: 駐車場】 [9.5.2~5、9]	<p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書9.5.11による)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p> <p>・路床安定処理 ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法 () ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・粒度調整砕石 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) 添加量 () kg/m³ (目標CBR ※3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻³ cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 六価コロム溶出試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・図示 路盤材料(改修標準仕様書9.7.3による種別) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン [A] ・再生粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</p> <p>舗装の構成 ・図示 舗装の平坦性 ※著しく不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>濁水の処理 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 ・図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場へ搬入(処理に焼却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場へ搬入(処理に焼却含む) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。</p> <p>提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 3) 疑義が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・図示	・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書9.5.11による)	・図示	・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・図示
	種別	材料	厚さ(mm)											
・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・図示												
・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書9.5.11による)	・図示												
・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・図示												
11 舗装版切断時に発生する濁水の処理(舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)	<p>種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位・箇所数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位 ・ 箇所数</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・分析調査(第二次判定)</td> <td>部 位 ・ 箇所数</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位 ・ 箇所数</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </table> <p>分析調査(第二次判定) 箇所数: 箇所</p> <p>詳細は監督員との協議による</p>	種類	採取する部位・箇所数	備考	・PCB含有シーリング	部 位 ・ 箇所数	・ 箇所	・分析調査(第二次判定)	部 位 ・ 箇所数	・ 箇所	・PCB含有シーリング	部 位 ・ 箇所数	・ 箇所	
種類	採取する部位・箇所数	備考												
・PCB含有シーリング	部 位 ・ 箇所数	・ 箇所												
・分析調査(第二次判定)	部 位 ・ 箇所数	・ 箇所												
・PCB含有シーリング	部 位 ・ 箇所数	・ 箇所												

B 耐震改修工事	① 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]	<p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 [9.3.2~4]</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱材打込み工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 断熱材現場発泡工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材の種類 ※A種1 ・ A種1H 厚さ(mm) 25 ・ 30 施工箇所 断熱材後張り工法 <ul style="list-style-type: none"> 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用 材質 ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法
	② 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]	③ 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]

⑩ 鉄筋工事 ② 溶接金網 ③ 鉄筋の継手 ④ 鉄筋の定着 ⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) ⑥ 各部配筋 7 ガス圧接 8 機械式継手 9 溶接継手	鉄筋の種類 (5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>SD295</td> <td>※ D16以下</td> <td>室外機架台</td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table> 形状等 (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>溶接金網</td> <td></td> <td>6×150×150</td> <td>床下周囲土間</td> </tr> <tr> <td>鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接 ・機械式継手</td> <td>※ D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・溶接継手 ・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>・重ね継手 ・ガス圧接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> 継手位置 ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1. 6.1. 7.1. 7.3. 8.1) ※基礎主筋の継手位置 ※図5.2 ※図5.3 ※図5.4 ※図示による () 柱及び梁の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(9)) 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(1)(9)) 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一面所に設ける部分の位置及び施工方法等 ※図示による () 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ※図示による () 機械式定着工法 適用箇所 ※図示による () 種類 ・麻痺圧接接合 ・溶合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図 (配筋標準図) による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4(1)表4.1) ※図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () ・なし 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・なし 適用箇所 () 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	SD295	※ D16以下	室外機架台	SD345	※ D19以上		種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	溶接金網		6×150×150	床下周囲土間	鉄筋格子				部位	継手方法	呼び径 (mm)	柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手	※ D19以上	耐力壁の鉄筋	・溶接継手 ・重ね継手		基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接		その他の鉄筋	・重ね継手		⑪ コンクリート工事 ② セメント ③ 骨材 ④ 混和材料 ⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 6 湿潤養生 ⑦ コンクリートの仕上り 8 打増し厚さ (打放し仕上げ部) ⑧ 型枠 ⑯ コンクリートの単位水量測定	種類 (6.2.1) ※1類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ※2類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スラブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>24</td> <td>2.3程度</td> <td>15又は18・18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>2.3程度</td> <td>18</td> <td>図示</td> </tr> </table> 構造体強度補正值 (S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值S=9 (3月3日~7月10日、9月11日~11月18日) S=6 (7月11日~9月10日、11月19日~3月2日) 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の水、他、熱が1日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 () ・適用箇所 (・1Fより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 () ・適用箇所 () アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下) ③ 混和剤の種類 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による 打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スラブの中央又は端から1/4の付近 ※図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ※図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ※図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ※図示による () 湿潤養生の期間 (6.7.2) 湿潤養生の種類が普通エコセメントの場合 () 日 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> 打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ※図示による () せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ③ 合板 (※12mm) () コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ※図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ※図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 ※図示による () スリーブの材質・規格等 ※図示による () 存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合 (※図示による ())	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラブ	適用箇所	24	2.3程度	15又は18・18		21	2.3程度	18	図示	種別	適用箇所	A種	※図示による ()	B種	※図示による ()	C種	※図示による ()	種別	適用箇所	a種	※図示による ()	b種	※図示による ()	c種	※図示による ()	⑬ 土工 ⑭ 金属工事 ⑮ 内装工事 ⑯ フェンス ⑰ プレキャストコンクリート ⑱ ネット及びその他工事	1 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 埋戻し及び盛土の種類 ・A種 適用場所 () ・B種 適用場所 () ・C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・D種 適用場所 () 品質 細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする。 ・六価クロム溶出試験結果報告 行う (再生品の場合) ・行わない 2 建設発生土の処理 (3.2.5) ・場外搬出適切処理 ・構内指示の場所にたい種 ・構内指示の場所に敷き均し 3 山留めの撤去 (3.3.3) 鋼矢板等の抜き跡 ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる 1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表14.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>AB-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AC-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BA-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BA-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BB-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BC-1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> </tr> </table> 陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色 色合等 ・シルバー ・アンパー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー ・特注色 () 2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2) <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>F種</td> <td></td> </tr> </table> 3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4)(表14.4.1) 野縁等の種類 ・シルバ ・19形 屋内 (※19形 ・25形) 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びびんサートの間隔 ※図示 周辺部の端からの間隔 ※図示 野縁の間隔 ※図示 ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3、4)(表14.5.1) スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ※図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4(5)による 5 金属成形板張り (14.6.2、3)(表14.2.1) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">板幅 (mm)</th> <th rowspan="2">板厚 (mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>色合い等</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">アルミニウム</td> <td rowspan="2">・押し ・ロール</td> <td>ハット形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>パネル形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ※図示 伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所) ※図示 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 6 アルミニウム製笠木	種別	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	AB-1種		AB-2種		AC-1種		AC-2種		BA-1種		BA-2種		BB-1種		BB-2種		BC-1種		BC-2種		C種		表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	溶融亜鉛めっき	A種		B種		C種		電気亜鉛めっき	D種		E種		F種		種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理		種別	色合い等	アルミニウム	・押し ・ロール	ハット形					パネル形					29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート間知ブロック</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>A・B</td> <td></td> </tr> </table> 積み方 ※谷積み ・布積み 目張り ・図示 伸縮調整目地 材質 ・図示 厚さ ・図示 22 舗装工事 1 路床 (22.2.2、3~5)(表22.2.1) 路床の材料 (22.2.2、3~5)(表22.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ()</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン () ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td>・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> </table> (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない 安定処理の方法 ・安定処理工法 ・置き換え工法 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 () ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号・1号) ・消石灰 (・特号・1号) 添加量 kg/m ³ (目標CBR ・3以上) ・不織布 (ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ (mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻³ cm/sec以上 試験 砂の粒度試験 ・行う 路床土の支持力 (CBR) 試験 ・行う (箇所) 現場CBR試験 ・行う (箇所) 安定処理土のCBR試験 ・行う 路床締固め度の試験 ・行う (箇所) 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない 2 路盤 (22.3.2、3)(表22.3.1) 路盤及び厚さ ※図示 路盤材料 (標準仕様書 表22.3.1による種別) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> </tr> </table> ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン () ・再生粒度調整砕石 () ・クラッシュラン鉄線スラグ () ・粒度調整鉄線スラグ () ・水硬性粒度調整鉄線スラグ () 3 アスファルト舗装 (22.4.2~4、6)(表22.4.1、4) アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト () ・ストリートアスファルト 骨材 ・アスファルトコンクリート再生骨材 () 加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F) 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 4 コンクリート舗装 (22.5.2~4)(表22.5.1~3) 構成及び厚さ <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>・車路、駐車場</td> <td>※図示</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・歩行者用通路</td> <td>※図示</td> <td>※70</td> </tr> </table> 材料 コンクリート ※普通コンクリート 標準仕様書表22.5.1による ・以下による コンクリートの種類 ・設計基準強度 (N/mm ²) ・所定のスラブ (cm) ※8 骨材の最大寸法 (mm) ※使用する ・使用しない 注目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 種類 ※標準仕様書表22.5.3による 間隔 ※標準仕様書表22.5.3による m程度ごと 構造 ※標準仕様書表22.5.1による ※図示 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2、3、6) 透水性舗装の構成及び厚さ ※図示 材料及び種類 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 () (標準仕様書 表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100) 舗装の平たん性 ※着しい不陸がないもの 試験 間隔度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 透水性コンクリート舗装 コンクリート舗装に対する基準値 <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>基準値</th> </tr> <tr> <td>最大粒径 (mm)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>空隙率 (%)</td> <td>20以上</td> </tr> <tr> <td>透水係数 (cm/s)</td> <td>1×10⁻²以上</td> </tr> <tr> <td>目地の間隔</td> <td>版厚の20倍程度</td> </tr> </table> 構成、厚さはコンクリート舗装による ・不織布 (ジオテキスタイル) 敷設位置 ※フィルター層と路床の間の敷設 ※図示 ・透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2、3) 透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による ・透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2、3) 透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による	種類	材質	種類	質量区分	備考	間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	-	-		コンクリート間知ブロック	-	-	A・B		種別	材料	厚さ (mm)	盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ()	・図示	凍上抑制層	・再生クラッシュラン () ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)	・図示	フィルター層	・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示	種別	砕石	再生材	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	・車路、駐車場	※図示	・図示		・歩行者用通路	※図示	※70	項目	基準値	最大粒径 (mm)	13	空隙率 (%)	20以上	透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻² 以上	目地の間隔	版厚の20倍程度	日付 工事名称 小学校避難所空調設備設置工事 (粕壁小学校) 図面No. 共通-05 縮尺 図面名称 特記仕様書5
	種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																																																																																																																																																																						
	SD295	※ D16以下	室外機架台																																																																																																																																																																																						
	SD345	※ D19以上																																																																																																																																																																																							
	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																																																																																																																																					
	溶接金網		6×150×150	床下周囲土間																																																																																																																																																																																					
	鉄筋格子																																																																																																																																																																																								
	部位	継手方法	呼び径 (mm)																																																																																																																																																																																						
	柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手	※ D19以上																																																																																																																																																																																						
	耐力壁の鉄筋	・溶接継手 ・重ね継手																																																																																																																																																																																							
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接																																																																																																																																																																																								
その他の鉄筋	・重ね継手																																																																																																																																																																																								
設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラブ	適用箇所																																																																																																																																																																																						
24	2.3程度	15又は18・18																																																																																																																																																																																							
21	2.3程度	18	図示																																																																																																																																																																																						
種別	適用箇所																																																																																																																																																																																								
A種	※図示による ()																																																																																																																																																																																								
B種	※図示による ()																																																																																																																																																																																								
C種	※図示による ()																																																																																																																																																																																								
種別	適用箇所																																																																																																																																																																																								
a種	※図示による ()																																																																																																																																																																																								
b種	※図示による ()																																																																																																																																																																																								
c種	※図示による ()																																																																																																																																																																																								
種別	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																																																																																																																																																																																								
AB-1種																																																																																																																																																																																									
AB-2種																																																																																																																																																																																									
AC-1種																																																																																																																																																																																									
AC-2種																																																																																																																																																																																									
BA-1種																																																																																																																																																																																									
BA-2種																																																																																																																																																																																									
BB-1種																																																																																																																																																																																									
BB-2種																																																																																																																																																																																									
BC-1種																																																																																																																																																																																									
BC-2種																																																																																																																																																																																									
C種																																																																																																																																																																																									
表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																																																																																																																																																																							
溶融亜鉛めっき	A種																																																																																																																																																																																								
	B種																																																																																																																																																																																								
	C種																																																																																																																																																																																								
電気亜鉛めっき	D種																																																																																																																																																																																								
	E種																																																																																																																																																																																								
	F種																																																																																																																																																																																								
種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理																																																																																																																																																																																				
					種別	色合い等																																																																																																																																																																																			
アルミニウム	・押し ・ロール	ハット形																																																																																																																																																																																							
		パネル形																																																																																																																																																																																							
種類	材質	種類	質量区分	備考																																																																																																																																																																																					
間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	-	-																																																																																																																																																																																						
コンクリート間知ブロック	-	-	A・B																																																																																																																																																																																						
種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																							
盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ()	・図示																																																																																																																																																																																							
凍上抑制層	・再生クラッシュラン () ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)	・図示																																																																																																																																																																																							
フィルター層	・川砂、海砂、良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示																																																																																																																																																																																							
種別																																																																																																																																																																																									
砕石																																																																																																																																																																																									
再生材																																																																																																																																																																																									
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																						
コンクリート舗装	・車路、駐車場	※図示	・図示																																																																																																																																																																																						
	・歩行者用通路	※図示	※70																																																																																																																																																																																						
項目	基準値																																																																																																																																																																																								
最大粒径 (mm)	13																																																																																																																																																																																								
空隙率 (%)	20以上																																																																																																																																																																																								
透水係数 (cm/s)	1×10 ⁻² 以上																																																																																																																																																																																								
目地の間隔	版厚の20倍程度																																																																																																																																																																																								

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
1.1 工事名 建築工事特記仕様書による
1.2 工事場所 建築工事特記仕様書による
1.3 工期 建築工事特記仕様書による

- 1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

<ul style="list-style-type: none">○ 電灯設備○ 動力設備・ 電熱設備・ 雷保護設備○ 受変電設備・ 電力貯蔵設備・ 発電設備・ 構内情報通信網設備・ 構内交換設備・ 情報表示設備・ 映像、音響設備・ 拡声設備 (非常放送設備)・ 誘導支援、呼出し設備	<ul style="list-style-type: none">・ テレビ共同受信設備・ テレビ電波障害防除設備・ 監視カメラ設備・ 駐車場管制設備・ 防犯、入退室管理設備・ 自動火災報知設備・ 自動閉鎖設備・ ガス漏れ火災警報設備・ 電話配管設備・ 中央監視制御設備・ 医療関係設備・ 昇降機設備
---	--

- 1.5 指定部分 ○ 無 ・ 有 (工期: 令和 年 月 日)

- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
建築工事特記仕様書による

- 1.7 建物概要
建築工事特記仕様書による

- 1.8 工事概要
建築工事特記仕様書による

- 1.9 同時期発注の関連工事 ※なし (ただし、工事対象エリアで施設管理委託受注者が作業を行う)

2 工事仕様

2.1 共通仕様

- (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)(最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工編)(最新版)、公共建築設備工事標準図(電気設備工編)(最新版)(以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。
なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
- (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

- 2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。
○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。)

項 目	特 記 事 項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 建築工事特記仕様書による
③ 工事用電力・水	建築工事特記仕様書による
④ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
⑤ 足場・さんばし類	建築工事特記仕様書による ○本工事とする。
⑥ 監督員事務所	建築工事特記仕様書による
⑦ 保 険	建築工事特記仕様書による
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する (契約金額による) ・ 適用しない
⑩ 完成図書の電子納品	建築工事特記仕様書による
⑪ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分をするもの (銅屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの (蛍光管) 蛍光管等は再資源化施設等に搬出し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。

- ⑫ 金属電線の塗装

- ⑬ 鍵
⑭ 地中電線路

- ⑮ 回路の種別
行先の表示

- ⑯ 電線の接続

- ⑰ 電線管の接続

- ⑱ 接地工事

- ⑲ 建設発生土の処理

- ⑳ 再生砂・再生アスコン

- ㉑ 耐震施工

露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融垂鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
ただし、見えかかり部の塗装については監督員の指示による。

壁等の鍵は、既存壁の鍵と整合を極力図るものとする。

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管 種 別	
	硬質ビニル電線管 (VE)	耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE)
良質土	波付硬質合成樹脂管 (FEP)	ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

(2) 地中電線路には、ケーブル埋設機及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。

(3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

漏電遮断機で保護されている回路と保護されていない回路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色・緑又は緑・色帯で区別する。

埋戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・ 構外搬出適切処理する。

契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・ 使用できる。 ※使用できない。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり1棟体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 最新版」(独立行政法人建築研究所監修)による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

(1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kgf] に、設計用水平地震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平地震度は、次による。

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】(※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。

重要機器
・ 配電盤 ・ 発電装置 (防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知器受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- ㉒ はつり及びあと施工アンカー打設

- ㉓ 改修部分の足場

- ㉔ 墜落制止用器具 (フルハーネス型)

※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号)による
・ 使用を要しない

- ㉕ 施工計画書

※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける
※総合施工計画書 (工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む)
※工種別施工計画書
○電力設備工事 ○受変電設備工事 ・ 電力貯蔵設備工事
・ 発電設備工事 ・ 通信、情報設備工事 ・ 中央監視制御設備工事
・ 医療関係設備工事 ・ 昇降機設備工事
※その他監督員が必要と認めるもの

- ㉖ アスベスト事前調査結果の報告

- ㉗ その他

- (1) 施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける。監督員の承諾を受ける。
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
(6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
(9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する)

項 目	特 記 事 項
① 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、2口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、市営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防炎用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新設工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 縦棒 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は縦棒を使用する。ただし、ボード張りで、ボード表面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、縦棒を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。
② 動力設備	(1) 動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はLR1とする。
④ 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 (端末処理 ・ 耐埋用 ・ 一般用) 受 電 電 圧 柱上用高圧気中 負荷開閉器 (PAS) 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 定格電圧 7.2kV 定格電流 (既存) 主 送 断 装 置 変 圧 器 設 備 容 量 定格電圧 7.2kV 定格遮断電流 40kA 動力用 100kVA×1台 電灯用 75kVA×1台 高圧連相コンデンサ 30.0kVar×1台 (改修後) 主 送 断 装 置 変 圧 器 設 備 容 量 定格電圧 7.2kV 定格遮断電流 14.4kA 動力用 200kVA×1台 電灯用 75kVA×1台 高圧連相コンデンサ 53.2kVar×1台 直列リアクトル ○6% ・ 13% 3.19kVar×1台

5 構内情報通信網設備	
6 電力貯蔵設備	
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給(コージェネレーション)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
8 構内交換設備	

9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備 (非常放送設備)	
10 昇降機設備	

- 2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	市営住宅
スイッチ (一般)	床下~中心	1,300	1,200
" (身体障害者用)	"	1,100	1,000
" (人感センサ一切換用)	"	2,000	2,000
コネクタ、電話用フット、直列コネクタ	" (一般)	300	400
" (和室)	"	150	200
" (台)	"	150	500
防水型コンセント	床上~中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	"	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	"	900	900
復帰ボタン (")	"	1,800	1,800
廊下表示灯 (")	"	2,000	2,000
端子盤	"	(上端1,900以下)1,500	2,000

3 その他

- 3.1 他工事との取合区分
建築工事特記仕様書による
- 3.2 図面上の縮尺
建築工事特記仕様書による
- 3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。
- 3.4 工事用図面
建築工事特記仕様書による

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

建築工事特記仕様書による

設計年月日	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図面番号
春 日 部 市 学 校 教 育 部 教 育 施 設 課	—	小学校避難所空調設備設置工事 (粕壁小学校)	特記仕様書 6 電気設備工事	共通-06

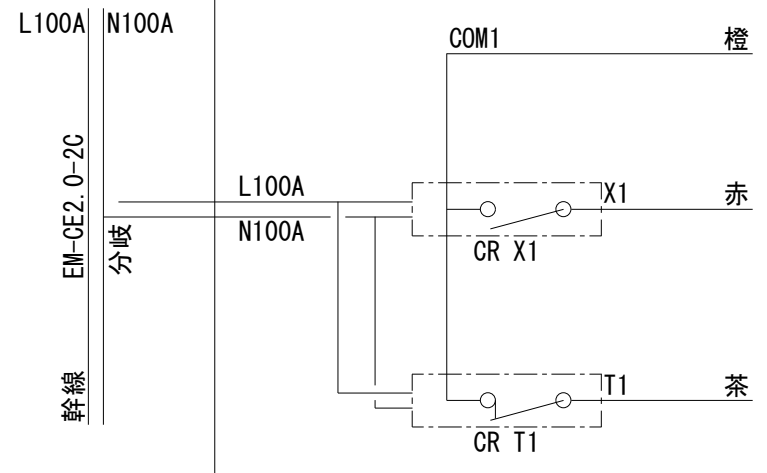
● 空気調和設備	① 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期 36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬 期 0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>	外 気		屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期 36.9℃	46.1%	28℃	9%	28℃	9%	冬 期 0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%	<p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・耐火二層換気管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU） （防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・（ロ）・XIとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・湯沸室 ・ ）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はh・（イ）・IXとし範囲は図示による）</p> <p>⑧ 試運転調整 風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>
	外 気		屋 内																								
温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																						
夏 期 36.9℃	46.1%	28℃	9%	28℃	9%																						
冬 期 0.6℃	50.7%	20℃	9%	20℃	9%																						
② 総合試運転調整	<p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ○する ※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない</p> <p>3 煙 道 10 ダンパー</p> <p>4 煙 突 5 長方形ダクト 6 円形ダクト 7 風量測定口 8 チャンパー 9 吹出口及び吸込口ボックス</p>	● 換気設備																									
● 空気調和設備	⑪ 配管材料	<p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。</p> <p>(5) ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼鋼管（白） ○硬質塩化ビニル管VP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（SXDのACI'レハ'イ'相当品） ・耐火二層管VP（FDPS-1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・</p>	<p>12 井 類 17 冷却塔</p>	○ 排水設備																							
	⑫ 空気熱源ヒートポンプ空調機	<p>標準仕様書によるほか下記による。</p> <p>(1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒・HFC（R410A、R32又はR407C） (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	● 自動制御																								
		<p>1 中央監視制御装置 ・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能 図示による</p> <p>3 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>A 計装制御 カードタイマーにより発停を制御する。 仕様は別紙のとおり カードのメモリ書き込み、納品は本工事とする。</p>	○ 排水設備																								
		<p>1 配管材料 配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>雑排水配管</td> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>汚水配管</td> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・排水用/カ-11F 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VP又はリサイクルVP ・VP 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF-VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。</p> <p>2 洗面器等の排水管</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙樹表による。</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書 建築工事特記仕様書による</p>	施工箇所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	汚水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・排水用/カ-11F 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	共通	地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VP又はリサイクルVP ・VP 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF-VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	○ 排水設備																
施工箇所	管 種 別																										
雑排水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																										
汚水配管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む） ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・排水用/カ-11F 抄塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VP又はリサイクルVP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																										
共通	地中埋設部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・VU ・卵形管（ゴム輪接合） ※REP-VU（軽荷重の場合） ・RF-VP又はリサイクルVP ・VP 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP（FDPS-1）又は耐火VP ・SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVP又はRF-VP ・VP ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																										

		参考工程表																																			
		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
工 事 項 目	月 日	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(30)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(31)	(10)	(20)	(31)			
学校運営		学校運営																																			
契約		契約																																			
書類作成		書類作成																																			
準備工事		準備工事																																			
共通仮設工事		共通仮設工事																																			
空調設備工事		空調設備工事																																			
空調設備工事に伴う建築工事		空調設備工事に伴う建築工事																																			
空調設備工事に伴う電気設備工事		空調設備工事に伴う電気設備工事																																			
アリーナLED化工事		アリーナLED化工事																																			
建築改修工事		建築改修工事																																			
受電設備工事		受電設備工事																																			
検査		検査																																			

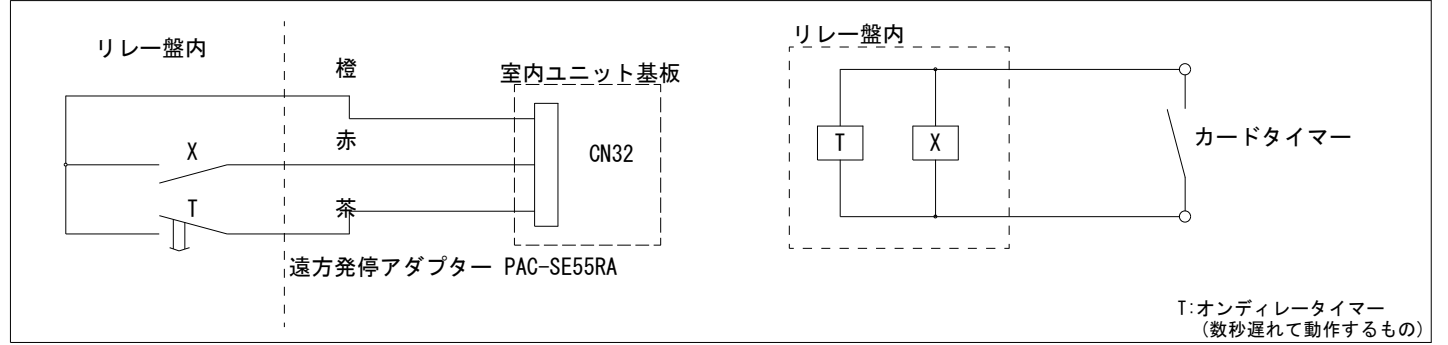
この工程表は参考であり、契約を拘束するものではない。学校関係者と協議の上、学校の意向を汲み、工程を決定すること。
この工事は学校、放課後クラブを運営しながらの工事である。工程は両運営に配慮した計画とすること。
設備発注は早期に実施し、工程の遅れが生じないようにすること。

設計年月日		春日部市 学校教育部 教育施設課		縮 尺	工 事 名 称	図 面 名	図面番号
				—	小学校避難所空調設備設置工事（粕壁小学校）	特記仕様書8 機械設備工事	共通-08

リレー盤

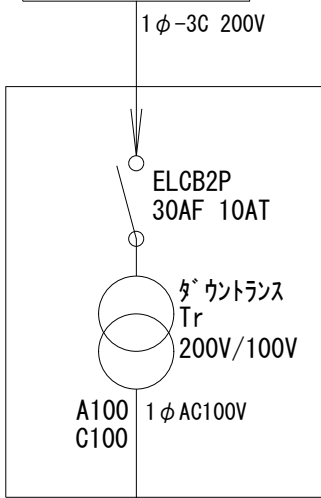


<配線図>



プリペイドカードを入れるとエアコンは運転、タイマーONの間のみリモコン操作を可能とする設定

空調用動力盤



[動作]

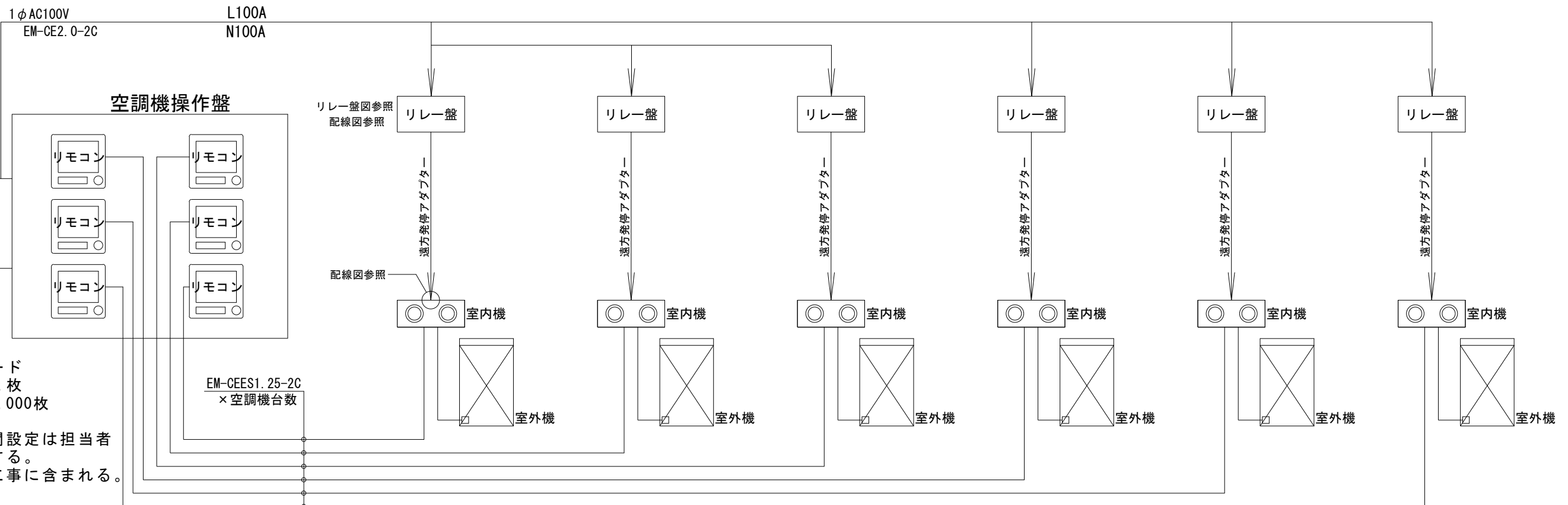
カードタイマー接点 オンディレイタイマー接点	状態	手元リモコンからの操作	
		運転/停止操作	その他設定(温度/風速など)
ON	タイマー制御/運転開始→	許可	許可
OFF(数秒遅れ)	リモコン制御	(オンディレイタイマー接点OFF後)	
OFF	タイマー制御/停止	禁止	停止
ON			

停止ボタンを押してもカードタイマーのカウントは停止しない。

カードタイマー運転フロー

- ① カードタイマーにカードを差し込む
カードタイマーに設定された度数が引き落とされる。
カードタイマーからカードが自動で出てくる。
連続でカードを抜き差しすると設定された度数がその回数分、引き落とされ、カードタイマーに加算される。
カードタイマーに引き落とされた度数の清算はできない。
- ② 自動で全空調が稼働する。
設定(冷暖房、温度、風量)は前利用した運転時の設定を引き継ぐ。
リモコンの操作ロックが解除される。
リモコンで運転OFFにできるが、カードタイマーの残数は減り続ける。
- ③ カードタイマーの残数が0になると全空調が停止する。
リモコンの操作はロックされる。

空調機操作盤



カードタイマー用カード
管理用カード 2枚
プリペイドカード 3,000枚

カウント当りの時間設定は担当者と協議により決定する。
カードの納品は本工事に含まれる。

EM-CEES1.25-2C
×空調機台数

外部仕上表：体育館

部 位	仕 上	備 考
屋 根	木毛セメント板t25、アスファルトルーフィング22kg、長尺カラー鉄板瓦葺t0.4の上、ウレタン塗膜防水 高反射トップ仕上げ（下屋根共）	
外 壁	遮熱フッ素樹脂塗装ガルバ鋼板張りt15（防火構造：PC030NE-0084）、耐震補強部：DP塗り	
外巾木	モルタル金ゴテのうえ、複層塗材E吹付け	
笠 木	カラーGL鋼板t0.4	
破風幕板	カラーGL鋼板t0.4	
軒 裏	けい酸カルシウム板t6 EP 目透かし張り	
樋	内樋：谷コイル、ドレイン：塩ビ製・SUS金網製、堅樋：カラーパイプ100φ	
その他	渡り廊下の階段及び踊場）一部既存コンクリート撤去、コンクリート打設の上モルタル金ゴテ仕上げ、SUS製手すり新設	階段部コンクリート打設用のコンクリートブロックt100新設
	土間）既存コンクリート撤去、コンクリートt100新設	
	スロープ）花壇一部撤去、コンクリート製スロープ新設、SUS製手摺新設	
	設備基礎）空調室外機：コンクリートt200 6箇所新設・キュービクル基礎）コンクリートt100増し打ち	

内部仕上表：体育館（アリーナの一部壁のみ改修を行う）

階	室名	床		巾木		壁		天井				備考
		仕上	下地	仕上	高さ	仕上	下地	仕上	下地	廻縁	高さ	
1	アリーナ	耐水合板t15の上、カバフローリングt18	RC	ラワン OS 一部、ツガ集成材 OS	100 100	ラワン合板t12+t5.5 OS 目透かし張り撤去 ラワン合板t5.5+t2.0 OSUC 目透かし張り新設	LGS	木毛セメント板t25、鉄骨見えがかり EP	-	-	-	ガラス面：飛散防止フィルム新設 空調室内機架台及び防球ガード新設・肋木移設
	ステージ	耐水合板t15の上、カバフローリングt18	W	ラワン OS	100	モルタル金ゴテ VP	LGS	木毛セメント板t25、鉄骨見えがかり EP	-	-	-	
	控室	ビニル床タイルt2.0	W	ラワン OS	100	モルタル金ゴテ VP	LGS	有孔石こうボードt9.5 VP 目透かし張り	LGS	-	2700	
	放送室	耐水合板t15の上、カバフローリングt18	W	ラワン OS	100	GB-R t9.5の上、有孔シナ合板t5.5 OP	LGS	GB-R t9.5の上、岩綿吸音板 t12.5	LGS	-	2700	
	通用口	モルタル金ゴテ	RC	モルタル金ゴテ VP	100	モルタル金ゴテ VP	LGS	GB-R t9.5 VP 目透かし張り	LGS	-	2500	段差解消スロープ： 鋼板t4の上、防滑性ビニル床シートt2.5新設
	玄関	150角クリンカータイル	RC	150角クリンカータイル	100	モルタル金ゴテ VP	LGS	GB-R t9.5 VP 目透かし張り	LGS	-	2800	
	会議室	ビニル床タイル	RC	ラワン OS	100	モルタル金ゴテ VP	LGS	GB-R t9.5の上、岩綿吸音板 t12.5	LGS	-	2500	
	器具室	モルタル金ゴテ	RC	モルタル金ゴテ	-	モルタル金ゴテ	LGS	木毛セメント板t25、白セメント吹付	LGS	-	-	
	男子便所	ビニル床シート	RC	ビニル製	60	化粧硬質セメント板t5	LGS	フレキシブルボードt5 VP 目透かし張り	LGS	-	2430	
	女子便所	ビニル床シート	RC	ビニル製	60	化粧硬質セメント板t5	LGS	フレキシブルボードt5 VP 目透かし張り	LGS	-	2430	

【下地凡例】

- ・RC：コンクリート
- ・CB：コンクリートブロック
- ・LGS：軽量鉄骨
- ・W：木製

【塗装凡例】

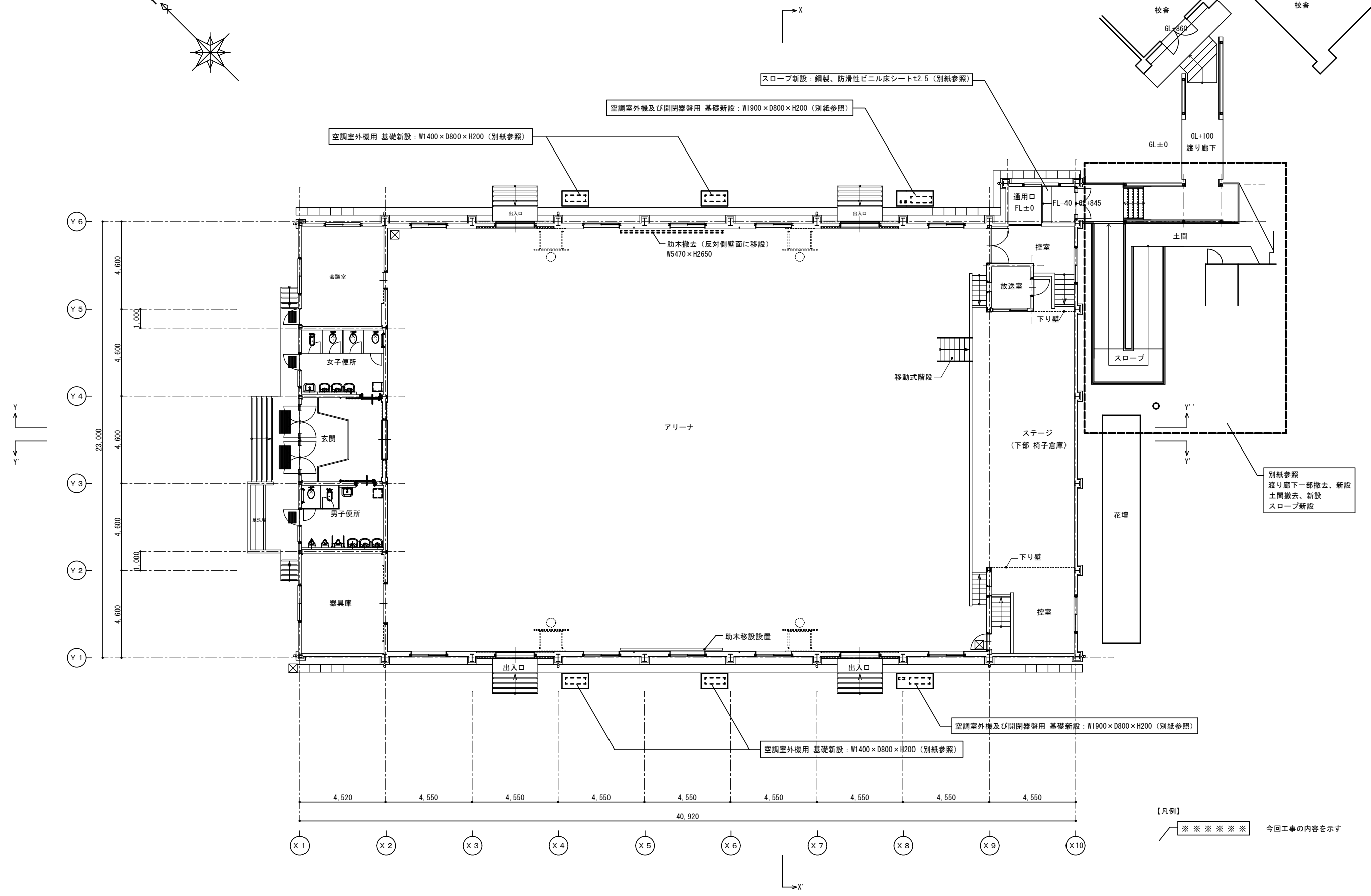
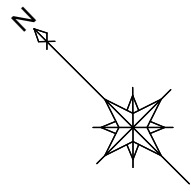
- DP：耐候性塗料塗り
- EP：合成樹脂エマルジョンペイント塗り
- EP-G：つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
- CL：クリアラッカー塗り
- UC：ウレタン樹脂ワニス塗り
- OS：オイルステイン塗り

【認定記号・番号】

- ・GB-R 石こうボード
- ・" "
- ・GB-D 化粧石こうボード
- ・DR 岩綿吸音板

今回工事内容を示す

※今回工事での建築工事に係る部分において、アスベスト含有建材なし。

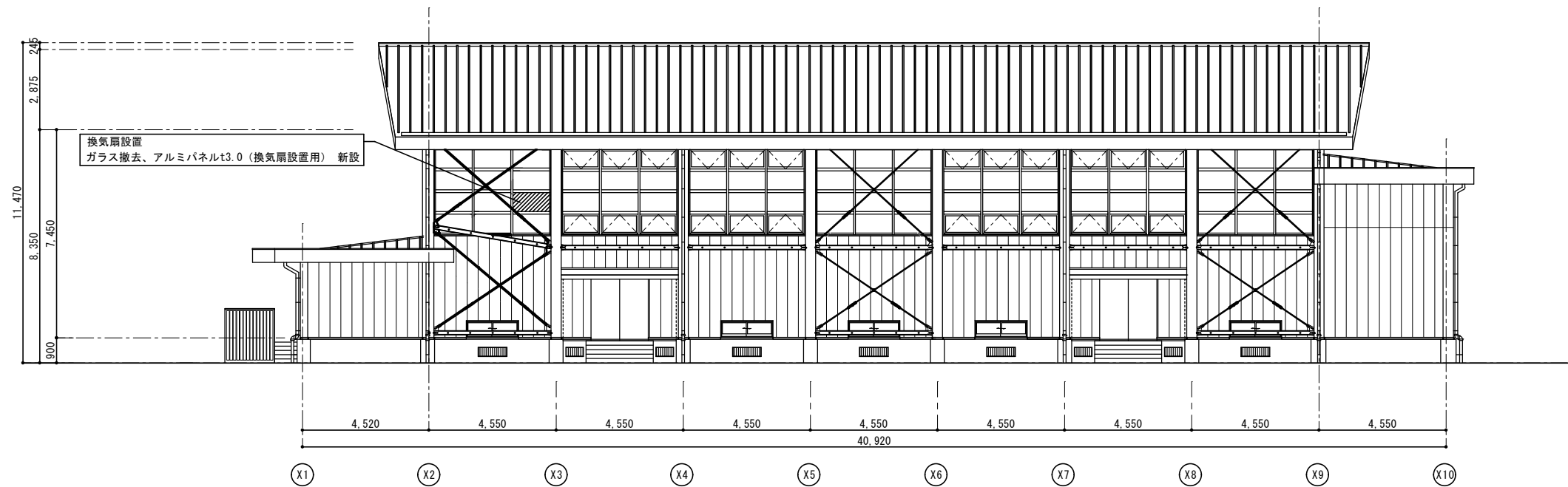


別紙参照
渡り廊下一部撤去、新設
土間撤去、新設
スロープ新設

【凡例】
※※※※※※※※※※ 今回工事の内容を示す

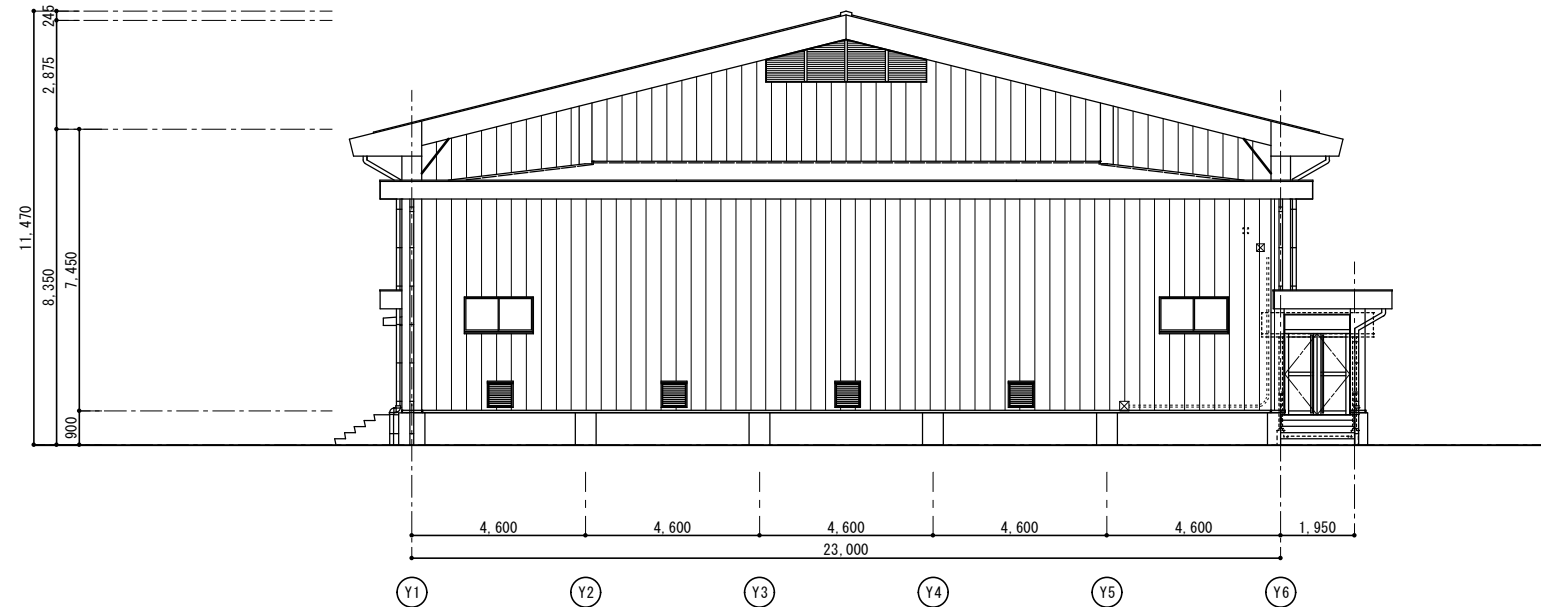


西立面図

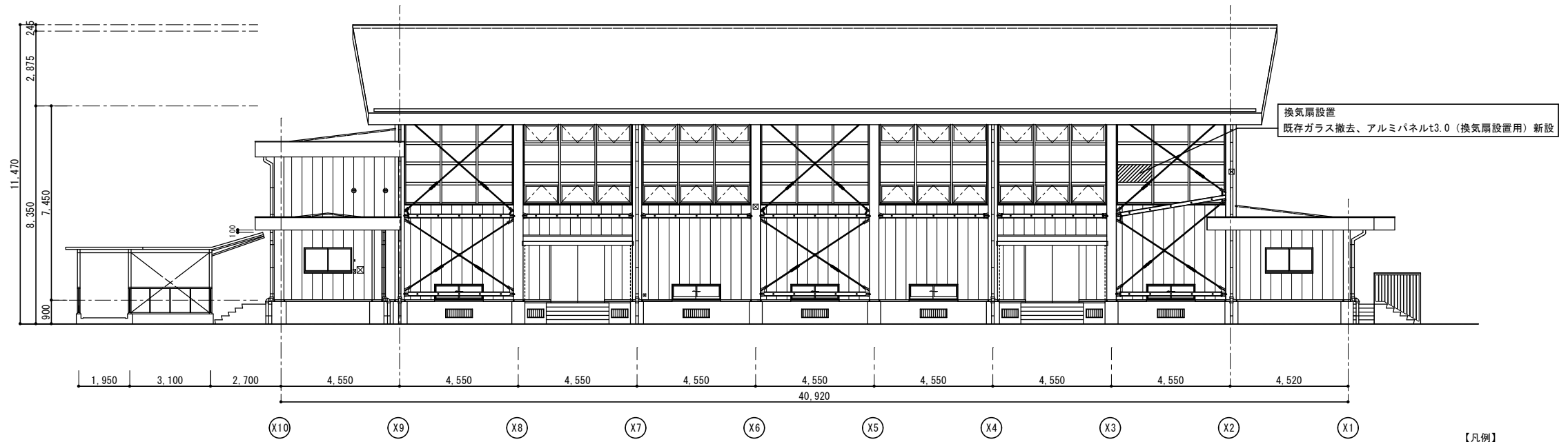


南立面図

【凡例】
 ※※※※※ 今回工事の内容を示す

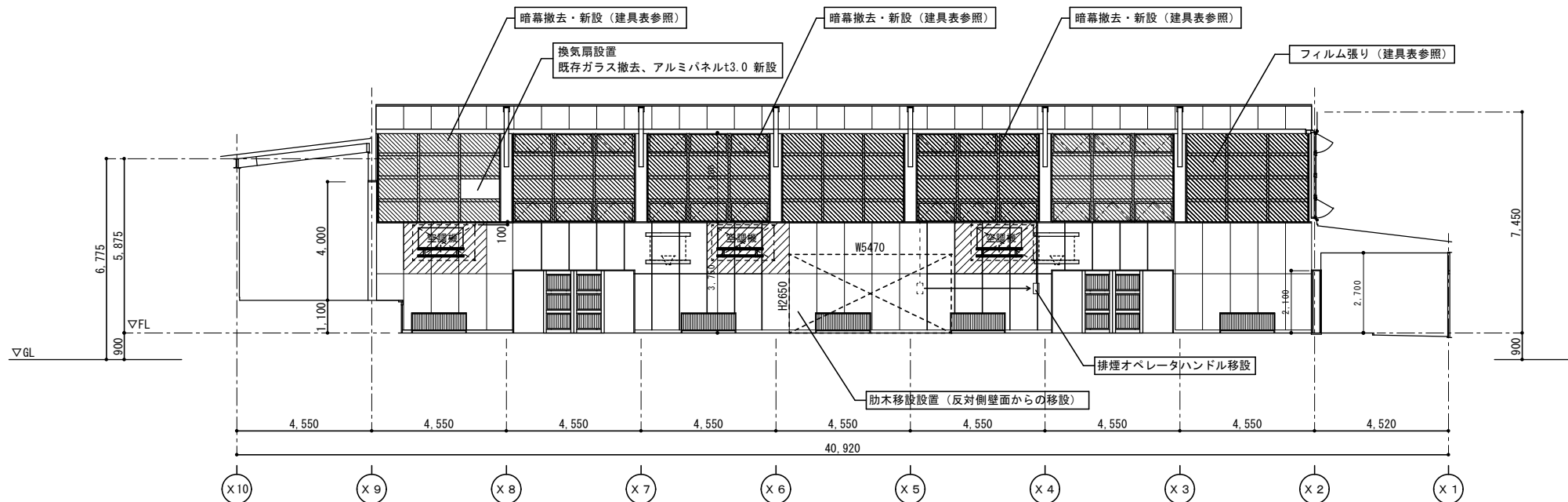


東立面図

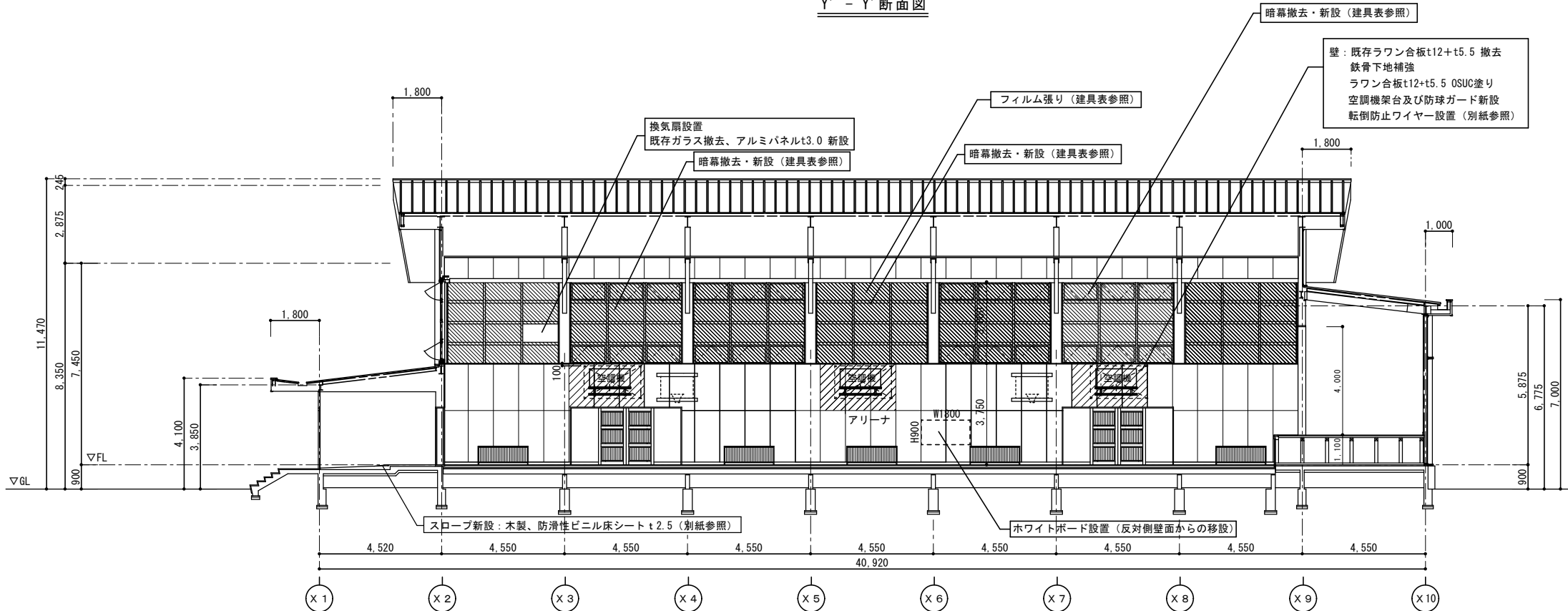


北立面図

【凡例】
 ※※※※※ 今回工事の内容を示す



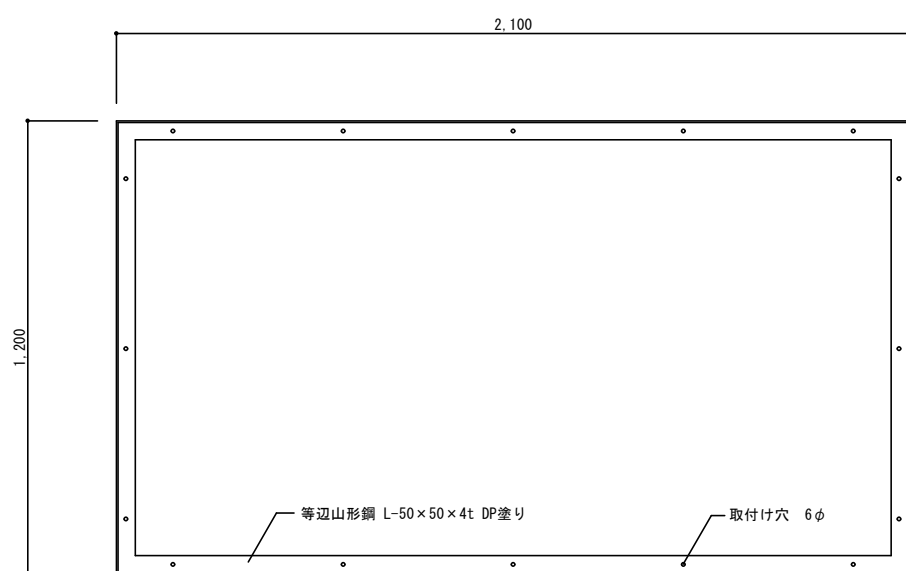
Y' - Y' 断面図



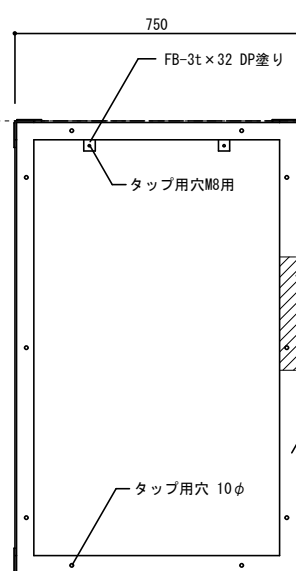
Y - Y'' 断面図

- 【凡例】
- ※※※※※※ 今回工事の内容を示す
 - （斜線） フィルム張り (建具表参照)
 - （点線） 空調機設置に伴う、壁撤去・新設 範囲

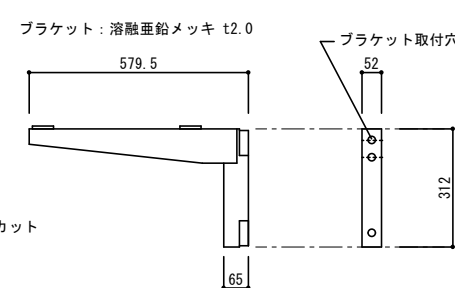
記号・数量・室名	AW01 × 10	アリーナ	AW02 × 3 AW2A × 2 AW2B × 1	アリーナ上部
姿図	<p>改修前</p>	<p>改修後</p>	<p>改修前</p>	<p>改修後</p>
改修方法	-	飛散防止フィルム内張り 全厚76μm (メーカー・品名: 3M NANOSTOS、不燃認定番号: NM-2949-1 同等品)	-	飛散防止フィルム内張り 全厚76μm (メーカー・品名: 3M NANOSTOS、不燃認定番号: NM-2949-1 同等品)
性能・形式・開閉 施解説	引違い窓	既存のまま	はめ殺し2連4段窓	既存のまま
寸法・見込	W1,800×H480 見込み: 70	既存のまま	W4,150~4,170×H3,000 見込み: 70	既存のまま
仕上	アルミニウム耐蝕合金	既存のまま	アルミニウム耐蝕合金	既存のまま
ガラス	学校用強化ガラス t4 (透明)	既存のまま	学校用強化ガラス t4 (透明)	既存のまま
取合	額縁3方、水切板	既存のまま	額縁4方、水切板	既存のまま
付属金物	付属金物一式	既存のまま	付属金物一式	既存のまま
記号・数量・室名	AW03 × 2 AW3A × 6	アリーナ上部	AW04 × 2	アリーナ上部
姿図	<p>改修前</p>	<p>改修後</p>	<p>改修前</p>	<p>改修後</p>
改修方法	-	飛散防止フィルム内張り 全厚76μm (メーカー・品名: 3M NANOSTOS、不燃認定番号: NM-2949-1 同等品)	-	飛散防止フィルム内張り 全厚76μm (メーカー・品名: 3M NANOSTOS、不燃認定番号: NM-2949-1 同等品)
性能・形式・開閉 施解説	上段外倒し中段はめ殺し下段すべり出し3連4段窓	既存のまま	上段すべり出し中段はめ殺し下段すべり出し3連4段窓	既存のまま
寸法・見込	W4,1560・4,170×H3,000 見込み: 70	既存のまま	W4,150~4,170×H3,000 見込み: 70	既存のまま
仕上	アルミニウム耐蝕合金	既存のまま	アルミニウム耐蝕合金	既存のまま
ガラス	学校用強化ガラス t4 (透明)	既存のまま	学校用強化ガラス t4 (透明)	既存のまま
取合	額縁4方、水切板	既存のまま	額縁4方、水切板	既存のまま
付属金物	付属金物一式	AW-3A 暗幕 2箇所撤去・新設 (高さは窓枠下+100まで) オペレーターハンドル移設 1箇所 (AW-03、断面図参照)	付属金物一式	既存のまま
記号・数量・室名	AW05 × 2	アリーナ上部	AW06 × 1	アリーナ上部
姿図	<p>改修前</p>	<p>改修後</p>	<p>改修前</p>	<p>改修後</p>
改修方法	-	飛散防止フィルム内張り 全厚76μm (メーカー・品名: 3M NANOSTOS、不燃認定番号: NM-2949-1 同等品)	-	飛散防止フィルム内張り 全厚76μm (メーカー・品名: 3M NANOSTOS、不燃認定番号: NM-2949-1 同等品)
性能・形式・開閉 施解説	上段すべり出し中段はめ殺し下段すべり出し3連4段窓	既存のまま	上段すべり出し中段はめ殺し下段すべり出し3連4段窓	既存のまま
寸法・見込	W3,325×H2,850 見込み: 70	既存のまま	W4,180×H2,850 見込み: 70	既存のまま
仕上	アルミニウム耐蝕合金	既存のまま	アルミニウム耐蝕合金	既存のまま
ガラス	学校用強化ガラス t4 (透明)	既存のまま	学校用強化ガラス t4 (透明)	既存のまま
取合	額縁4方、水切板	既存のまま	額縁4方、水切板	既存のまま
付属金物	付属金物一式	既存のまま	付属金物一式	既存のまま
		春 日 市 学 校 教 育 施 設 教 育 課	日付 2024.02.16	工事名称 小学校避難所空調設備設置工事 (粕壁小学校)
			縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面名称 建具表
				A-10



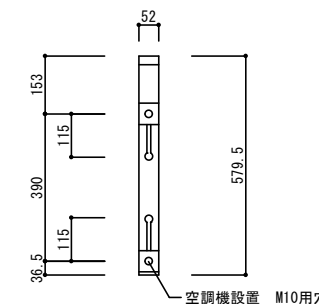
正面図 (フレーム) S=1/10



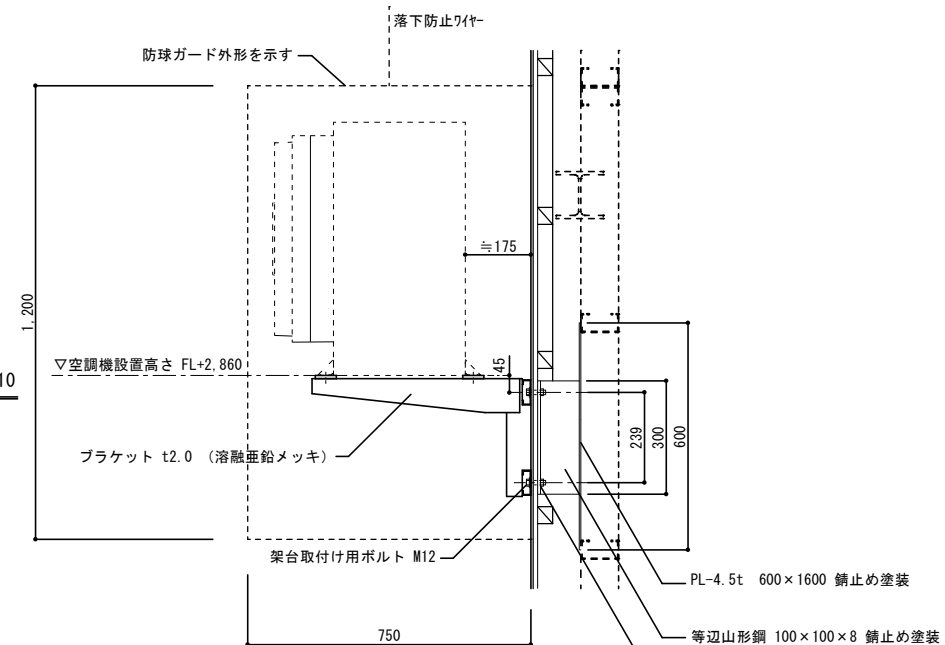
側面図 (フレーム) S=1/10



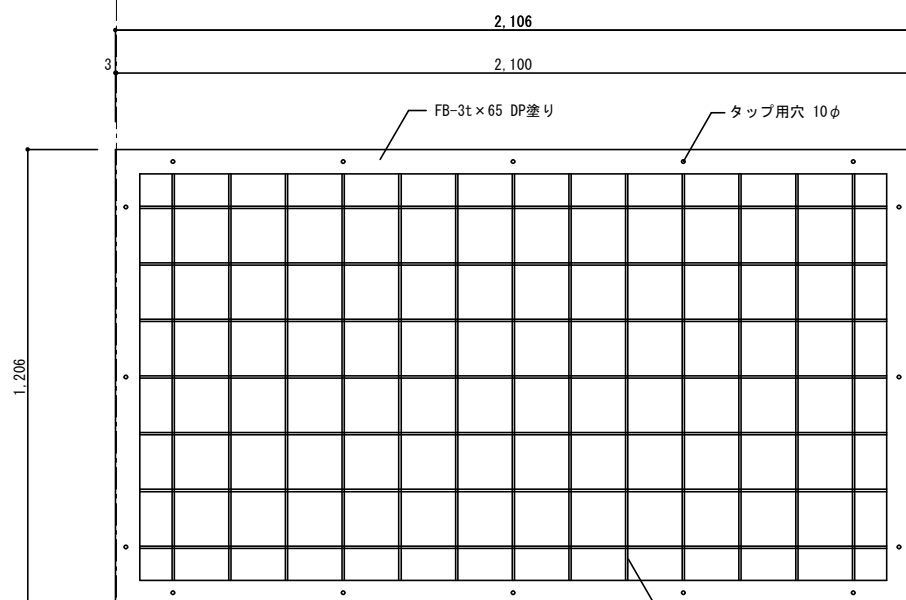
ブラケット側面図 S=1/10 ブラケット正面図 S=1/10



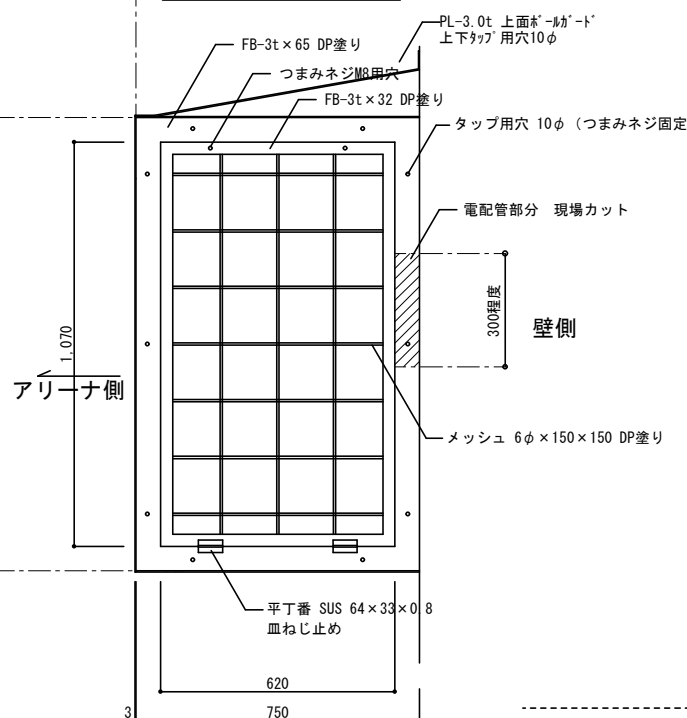
ブラケット平面図 S=1/10



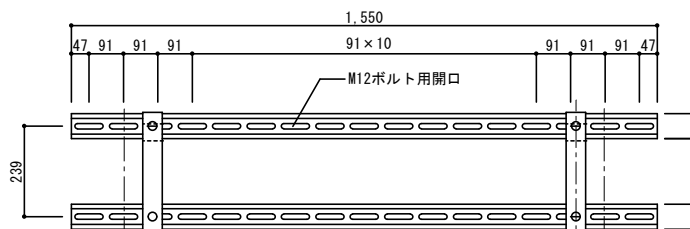
架台下地廻り 断面図 (A-A') S=1/10



正面図 (カバー) S=1/10



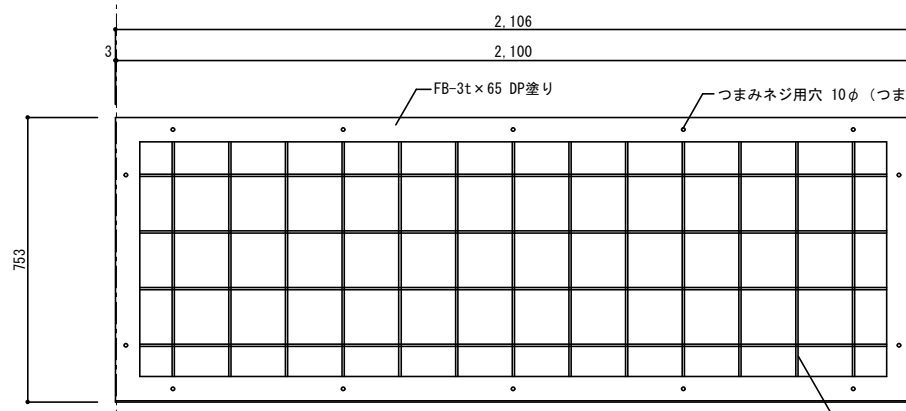
側面図 (開閉蓋付きカバー) S=1/10



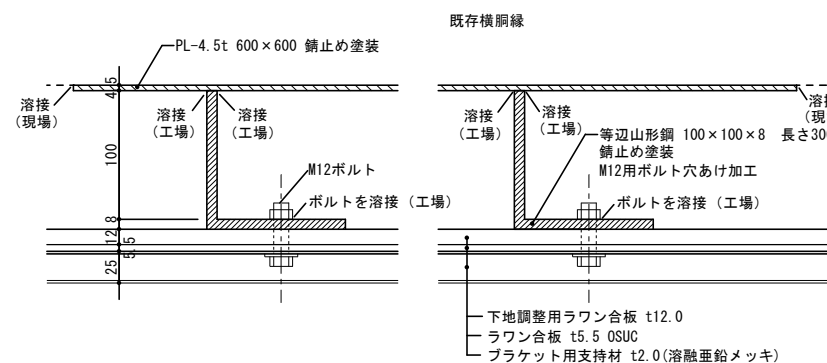
ブラケット用支持材 正面図



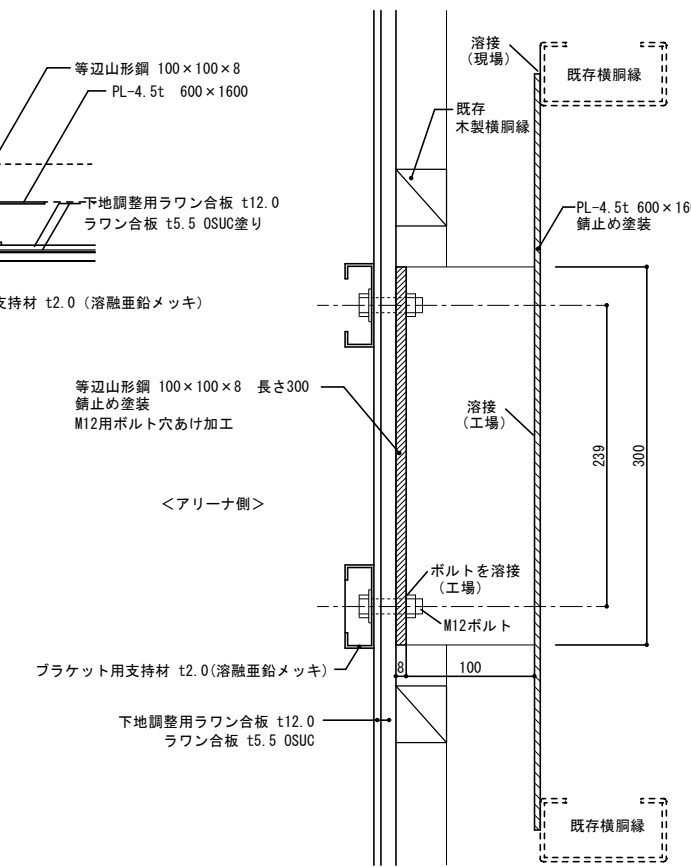
架台下地 平面図 S=1/10



下面図 (カバー) S=1/10



架台下地平面詳細図 S=1/3

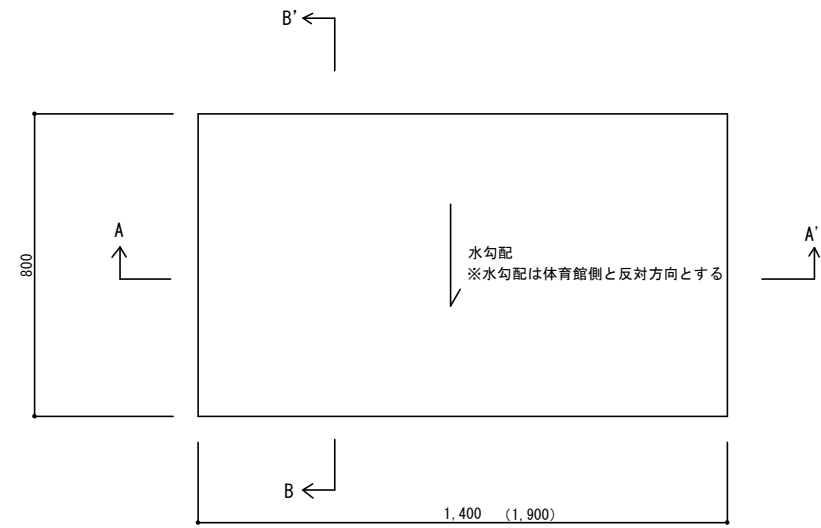


架台下地断面詳細図 S=1/3

<施工について>

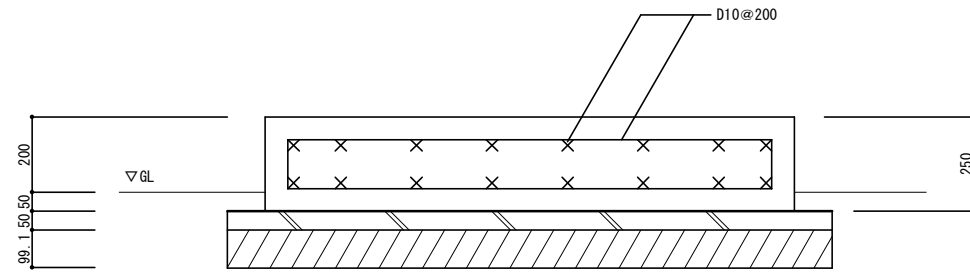
- 工場制作にて、M12用ボルト用の穴あけ加工した等辺山形鋼をPL-4.5tと溶接にて接合する。
- 錆止め塗装後、現場溶接にて横鋼線と接合する。
- 空調室内機を設置するためのブラケット用支持材を等辺山形鋼とM12ボルトで接合する

■設備基礎 詳細図

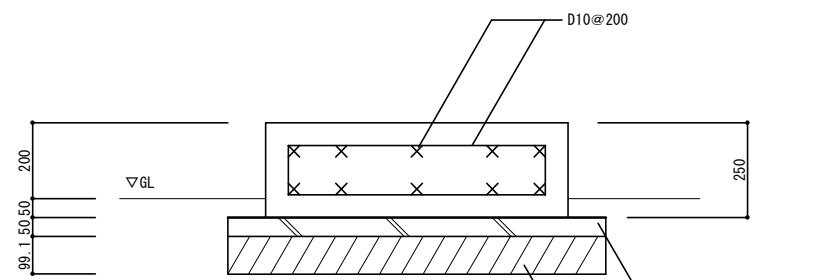


※ () 内の寸法は、電気設備用と機械設備用の基礎の場合とする
コンクリートの出隅部は面木設置のこと

設備基礎平面図 S=1/10



A-A' 断面図 S=1/10

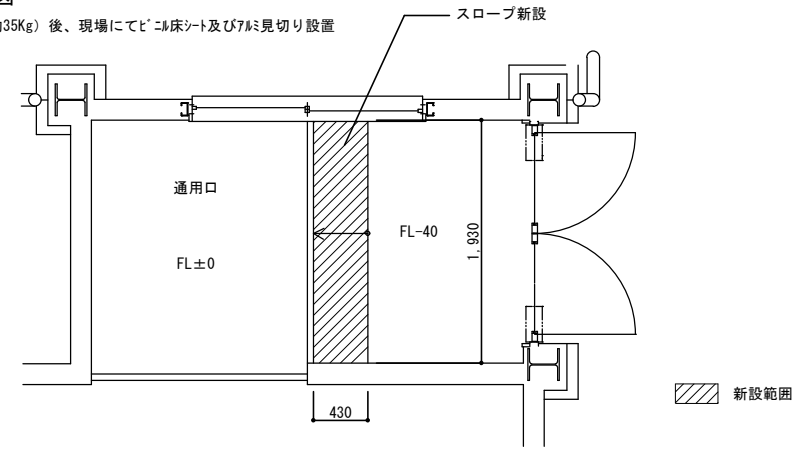


B-B' 断面図 S=1/10

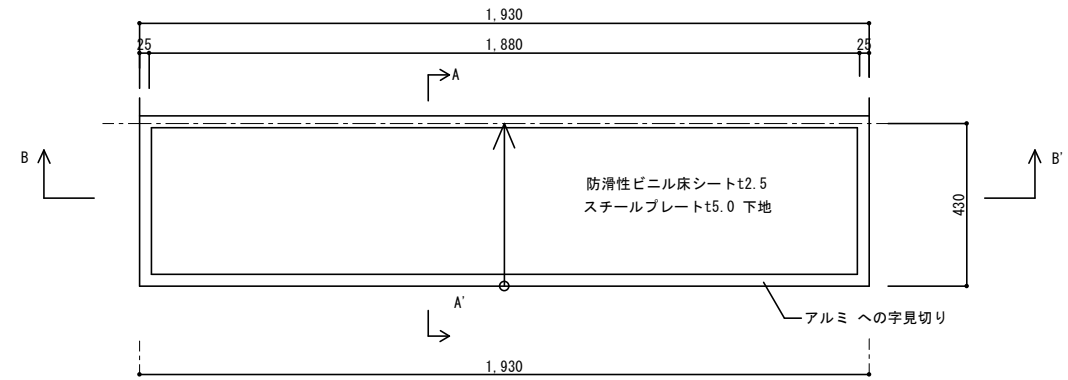
コンクリート：普通コンクリート
設計基準強度 21N/mm²
スランブ 18
鉄筋：SD295A

■屋内スロープ 詳細図

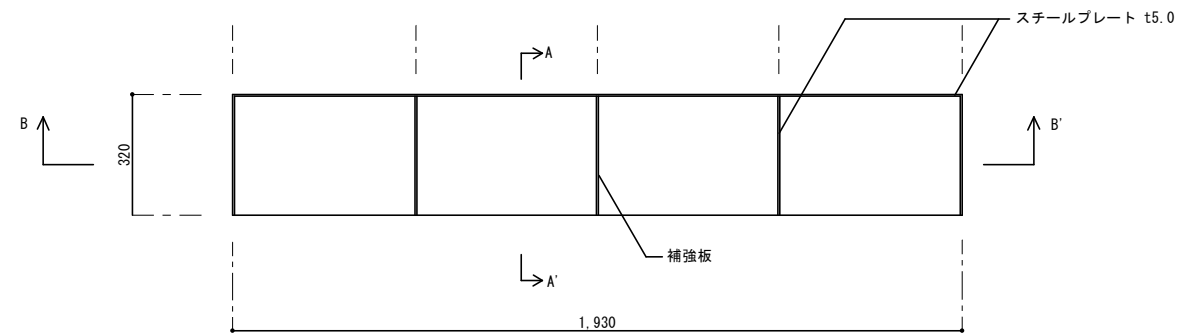
※鋼製下地を工場製作（重量約35Kg）後、現場にてビニル床シート及びアルミ見切り設置



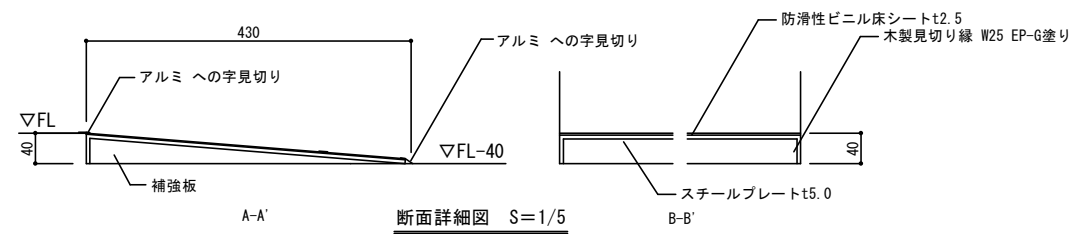
平面図 S=1/30



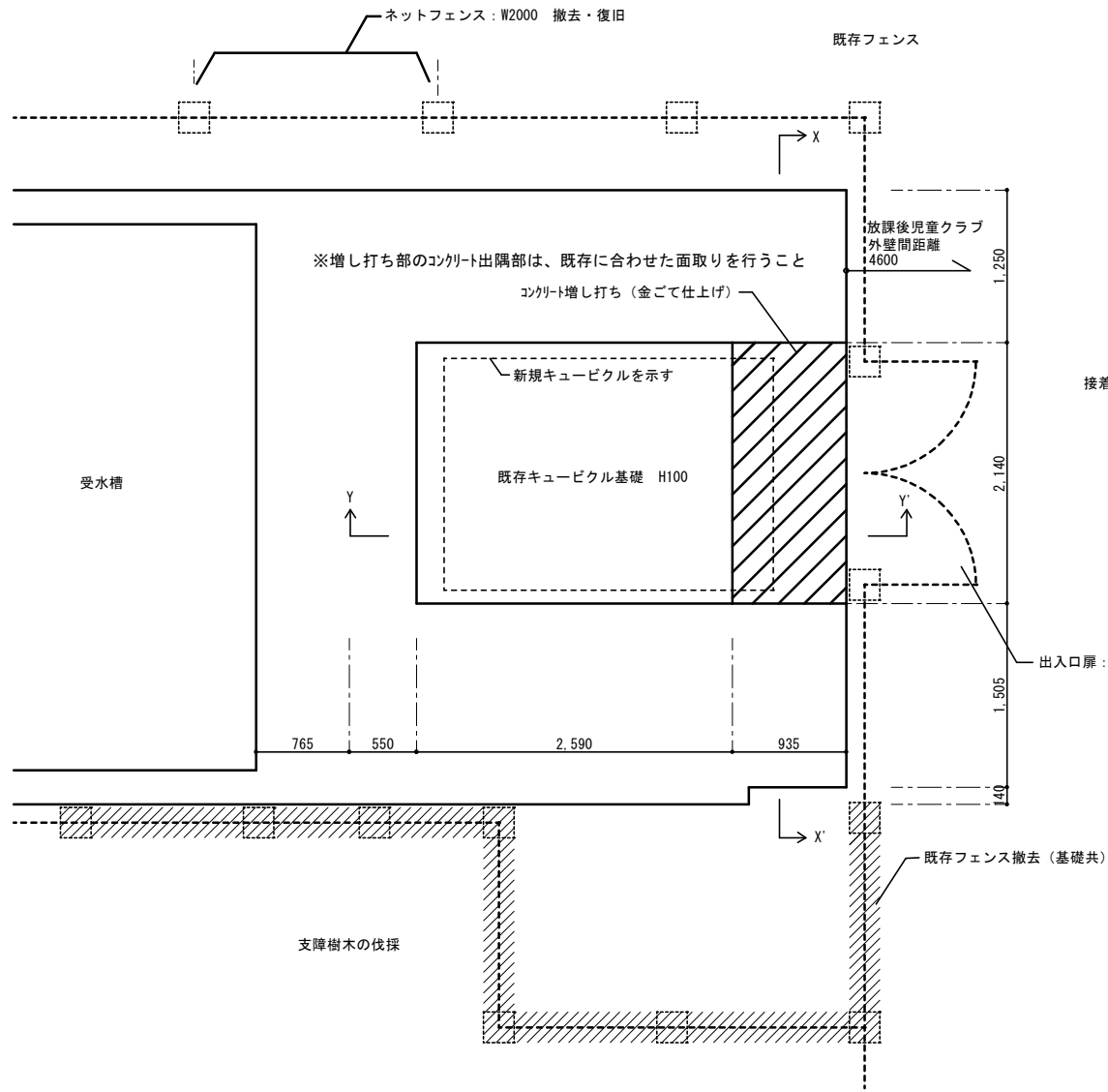
平面図 S=1/10



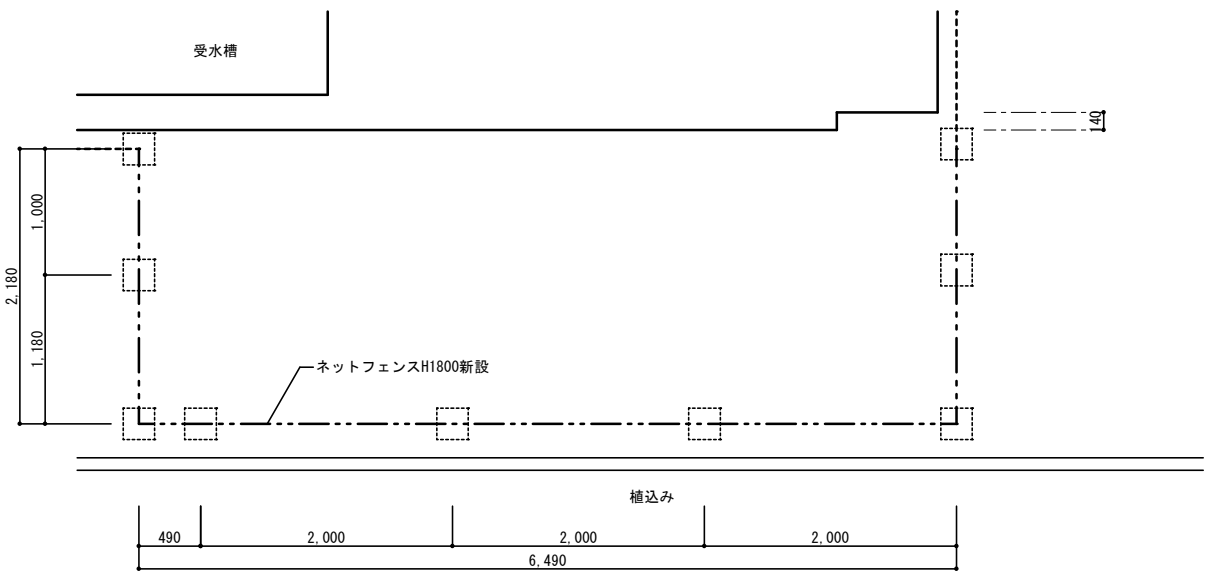
軸組平面図 S=1/10



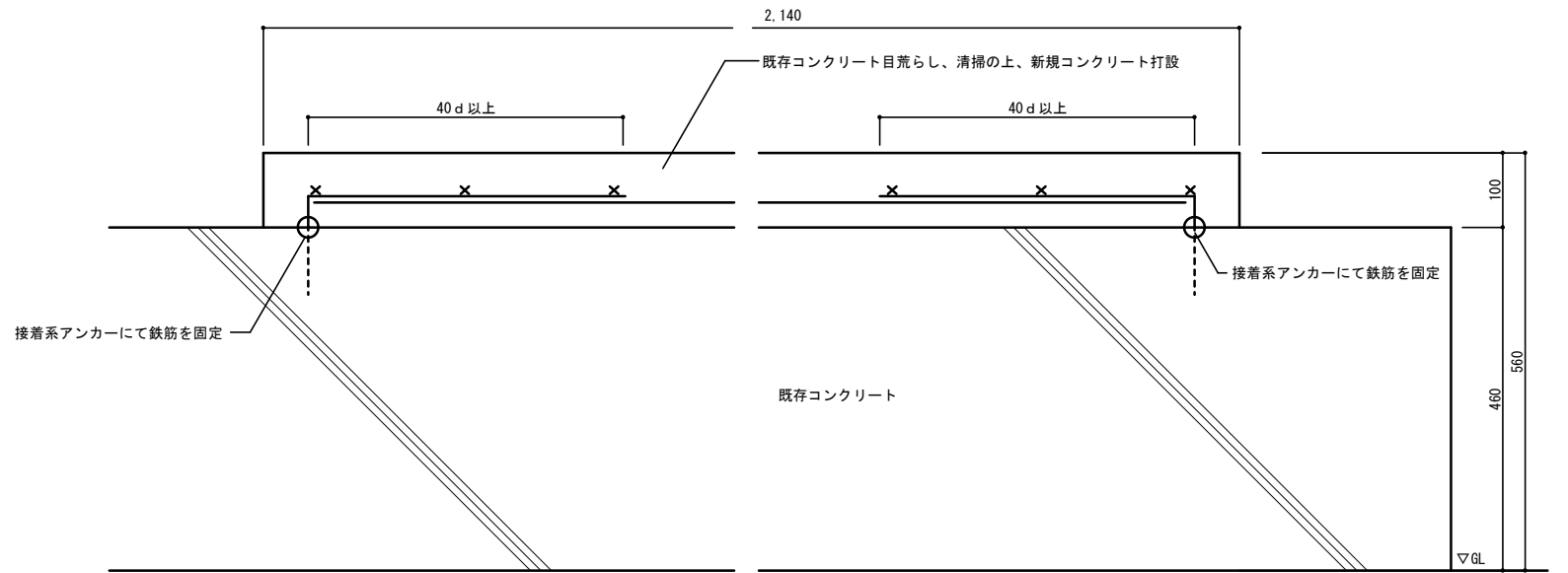
断面詳細図 S=1/5



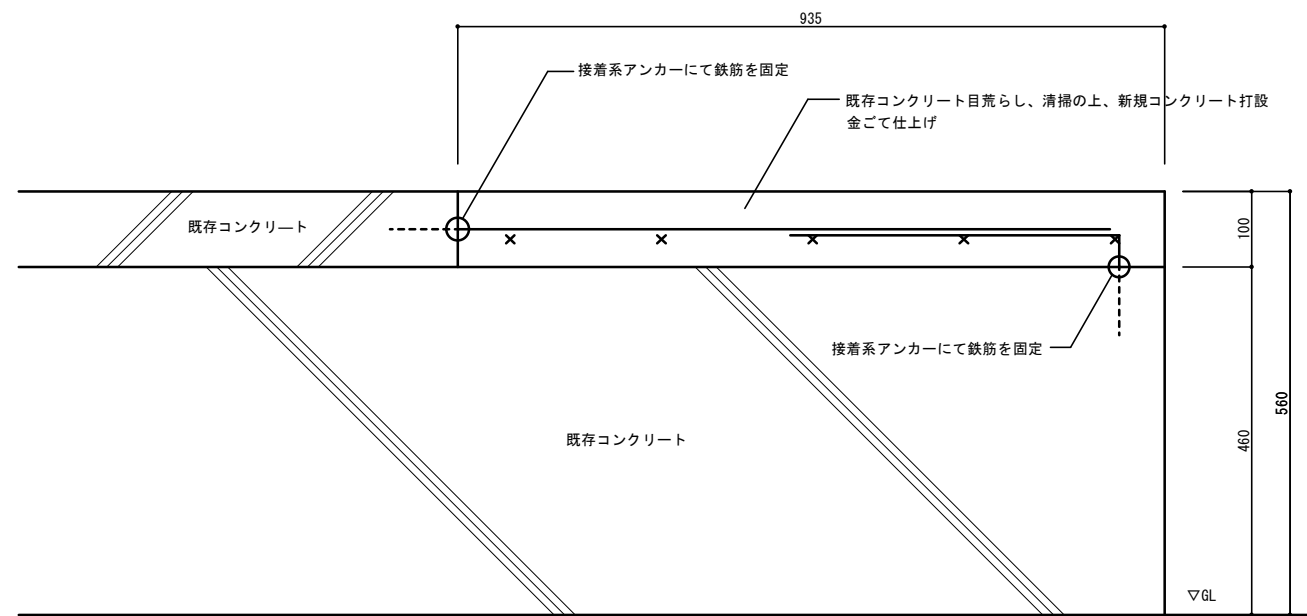
キュービクル基礎平面図 S=1/30



フェンス改修後平面図 S=1/30



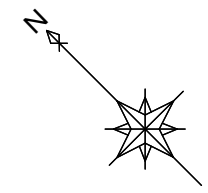
キュービクル基礎断面図 (X-X') S=1/5



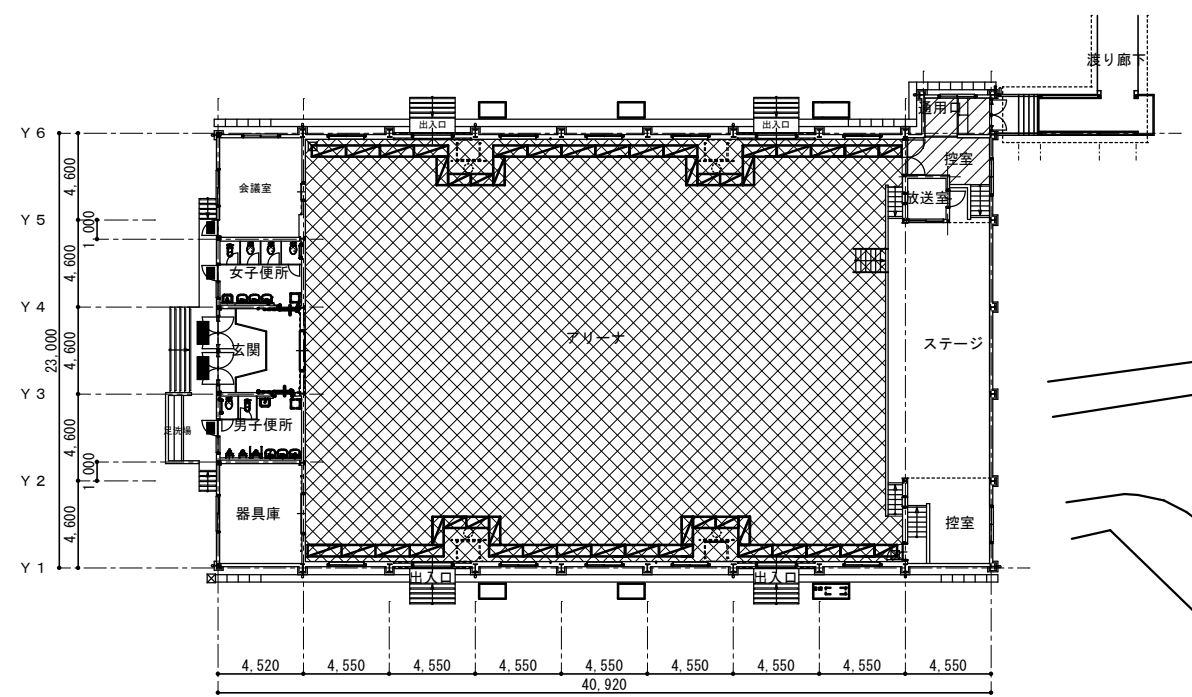
配筋参考図

コンクリート：普通コンクリート
 設計基準強度 21N/mm²
 スランプ 18
 鉄筋：SD295A・d10@200

キュービクル基礎断面図 (Y-Y') S=1/5



【備考】
 施設利用者の安全性を優先し、事故が発生しないように適宜、交通誘導員等を配置すること。
 仮設の撤収後、既存復旧を行うこと。
 学校行事等により、一時的に仮設の移動、撤収が必要な場合がある。
 この仮設計画は参考であり、学校関係者との打合せにより仮設の規模、位置、時期を決定する。
 子どもの登下校のピーク時間は、工事車両の通行は原則禁止とする。

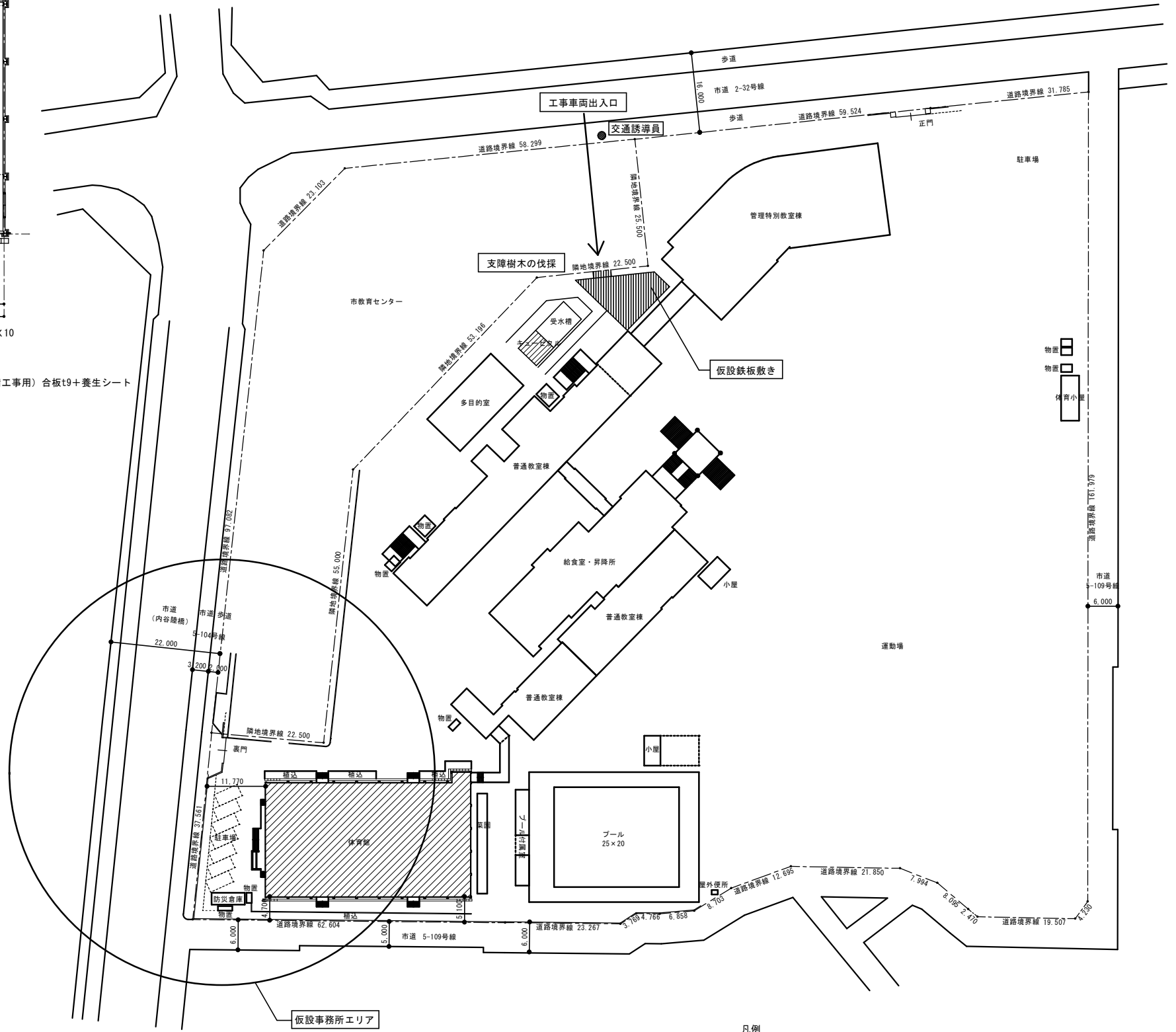


＜空調室内機設置個所の防災シートについて＞
 空調室内機設置に係わる鉄骨下地補強用の現場溶接時には
 防災シート等による養生及び火花の飛散防止措置を講ずること。
 1箇所あたりの防災シート等による区画範囲は以下とする。

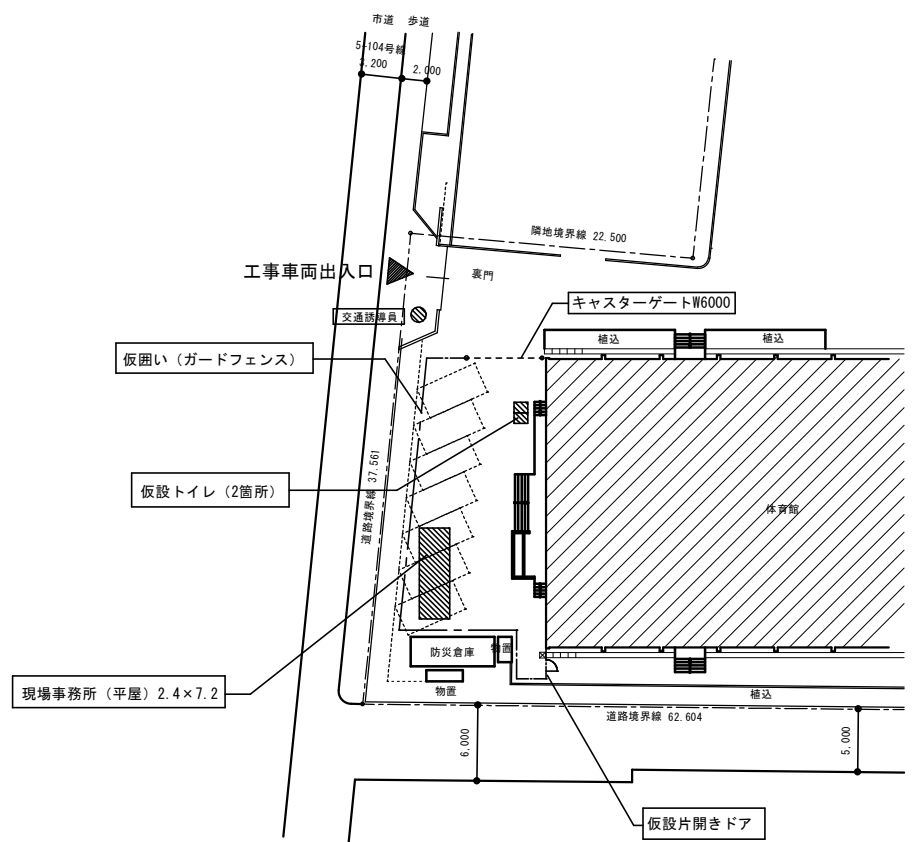
幅4m
 高さ3.6m、奥行2m

内部仮設平面図 S=1/200

【凡例】
 [Cross-hatch pattern] 整理・清掃・片付け
 [Dotted pattern] ローリングタワー（電気設備工用）合板t9+養生シート
 [Diagonal lines] 枠組本足場
 [Horizontal lines] 養生、整理・清掃・片付け

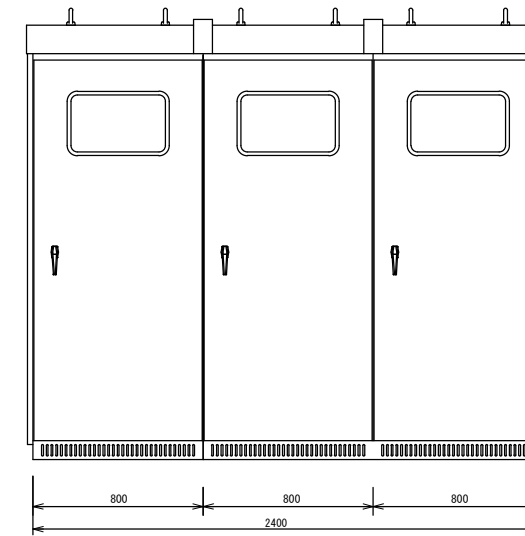
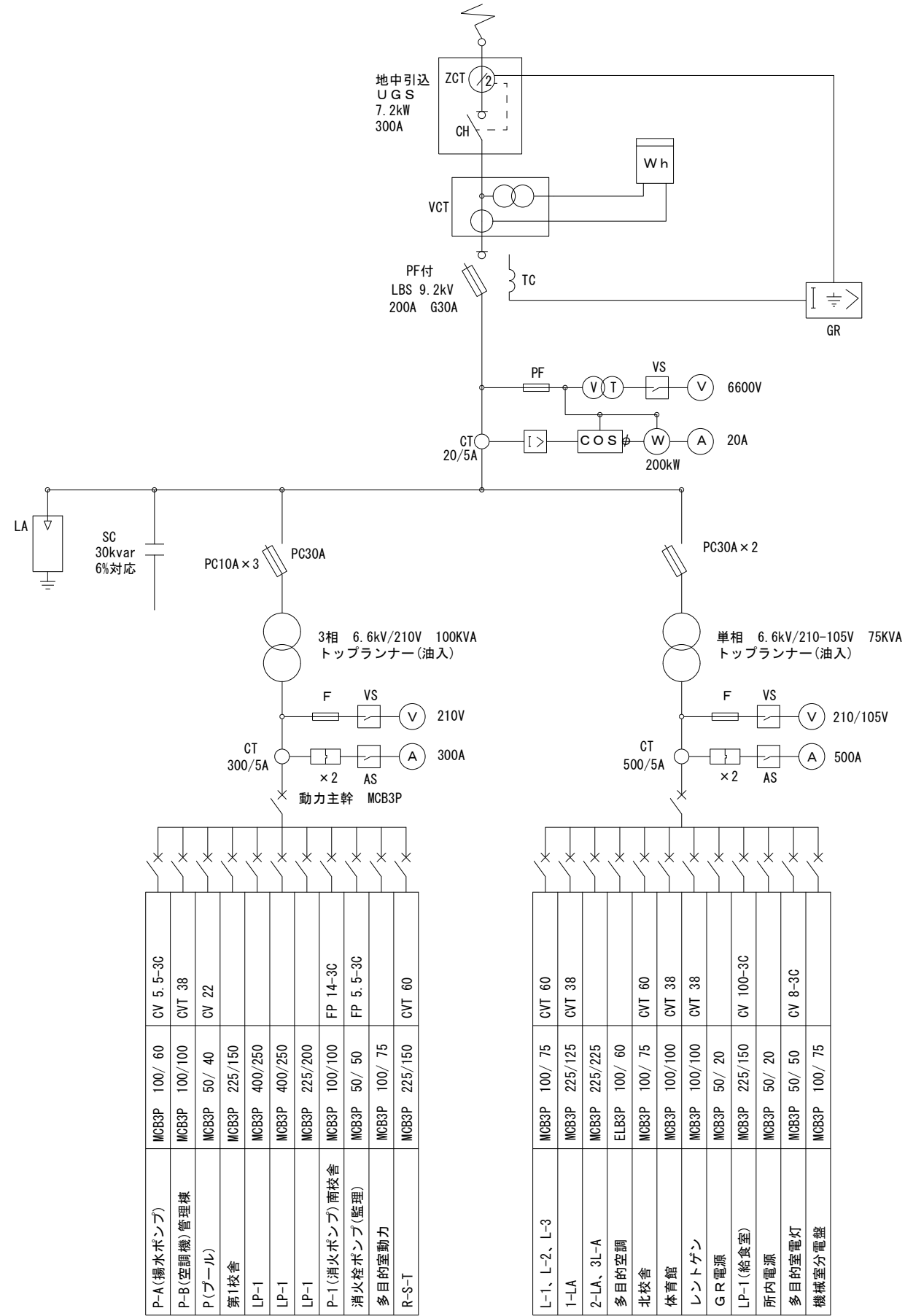


配置図 S=1/500

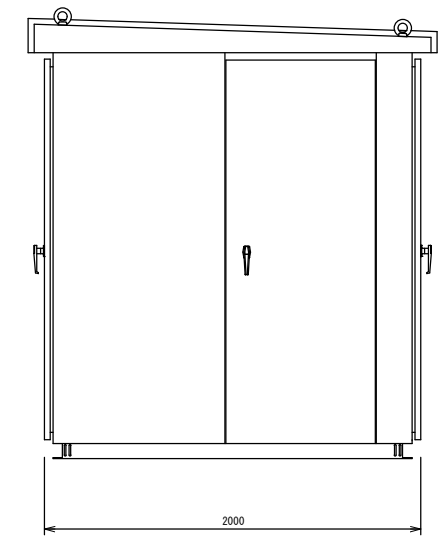


仮設事務所エリア 拡大図 S=1/300

撤去キュービクル



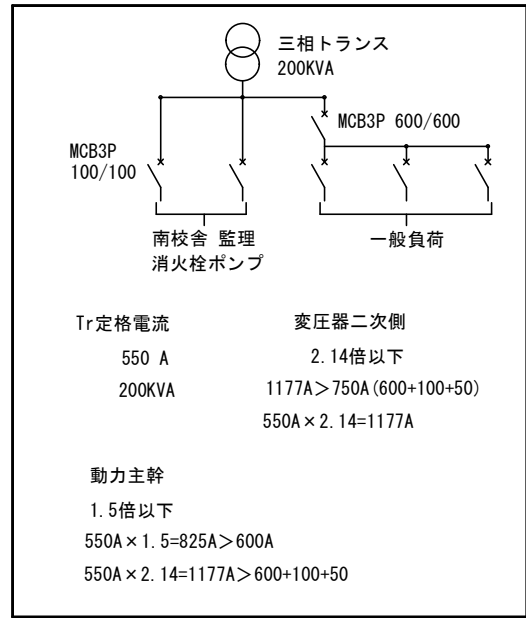
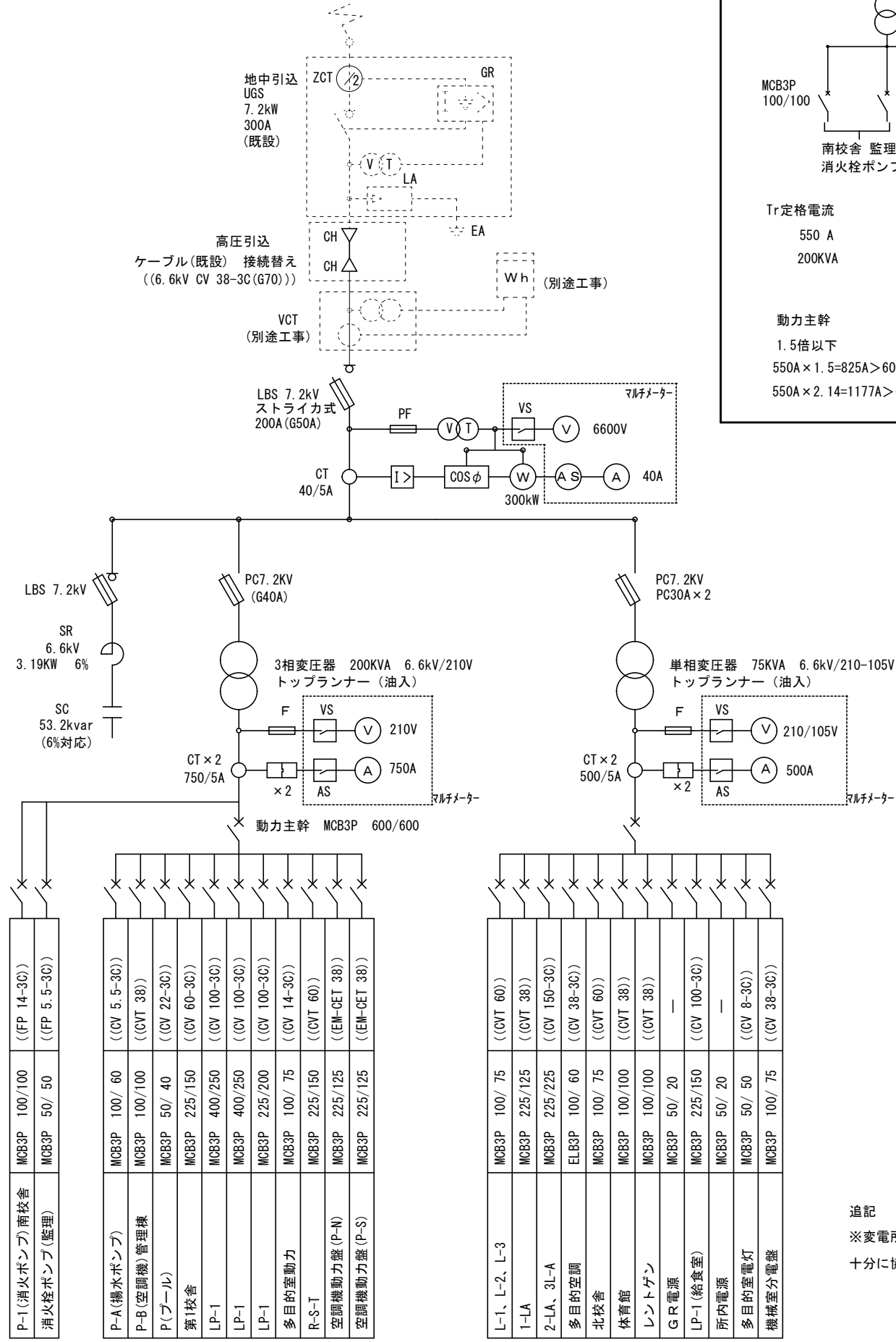
正面



側面

更新キュービクル

計算書



Tr定格電流 550 A
200KVA

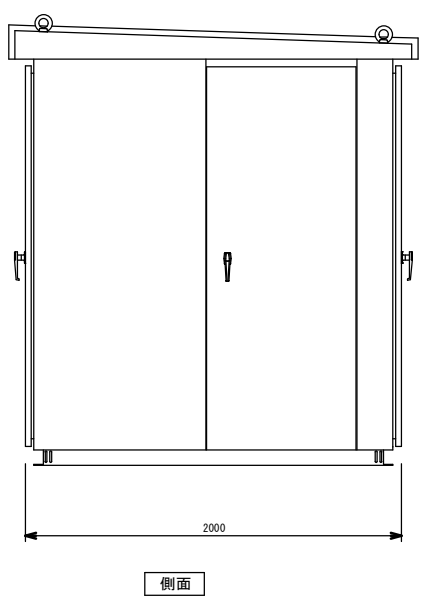
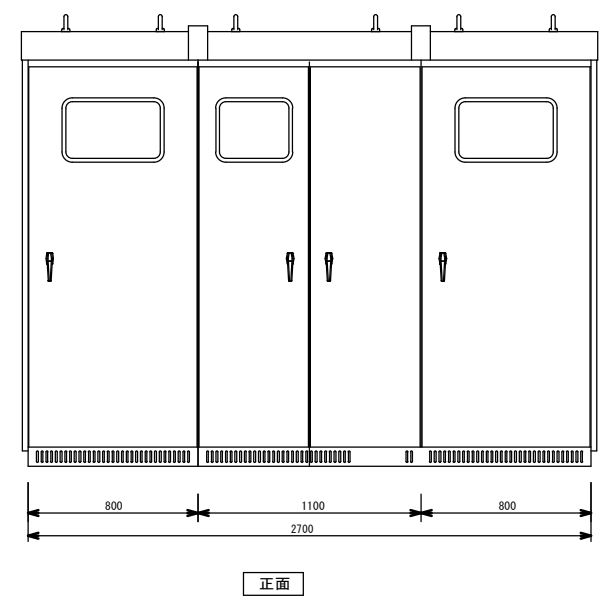
変圧器二次側 2.14倍以下
1177A > 750A (600+100+50)
550A × 2.14 = 1177A

動力主幹 1.5倍以下
550A × 1.5 = 825A > 600A
550A × 2.14 = 1177A > 600+100+50

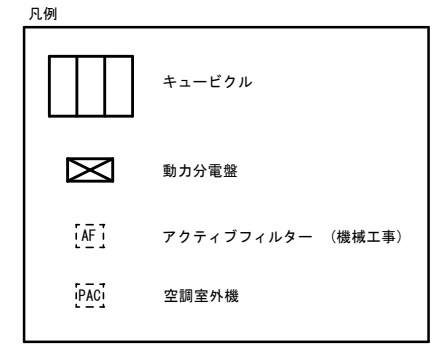
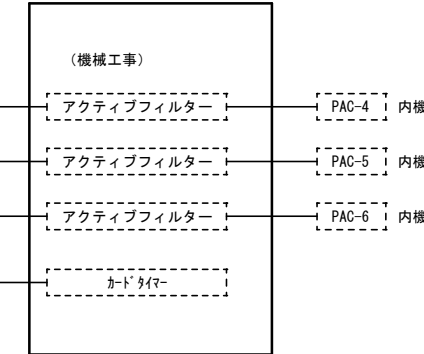
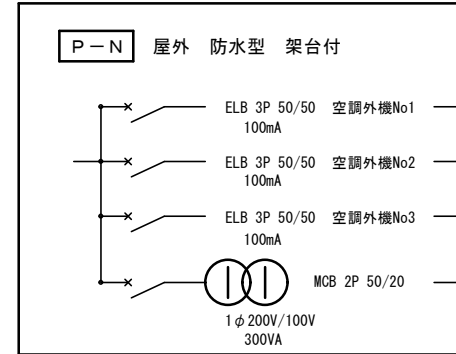
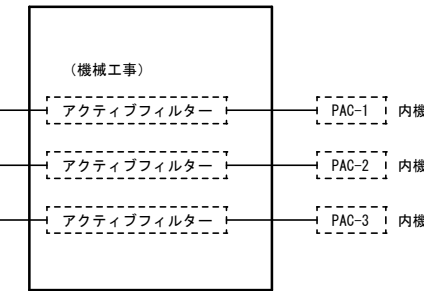
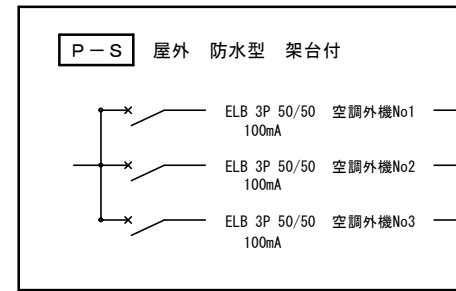
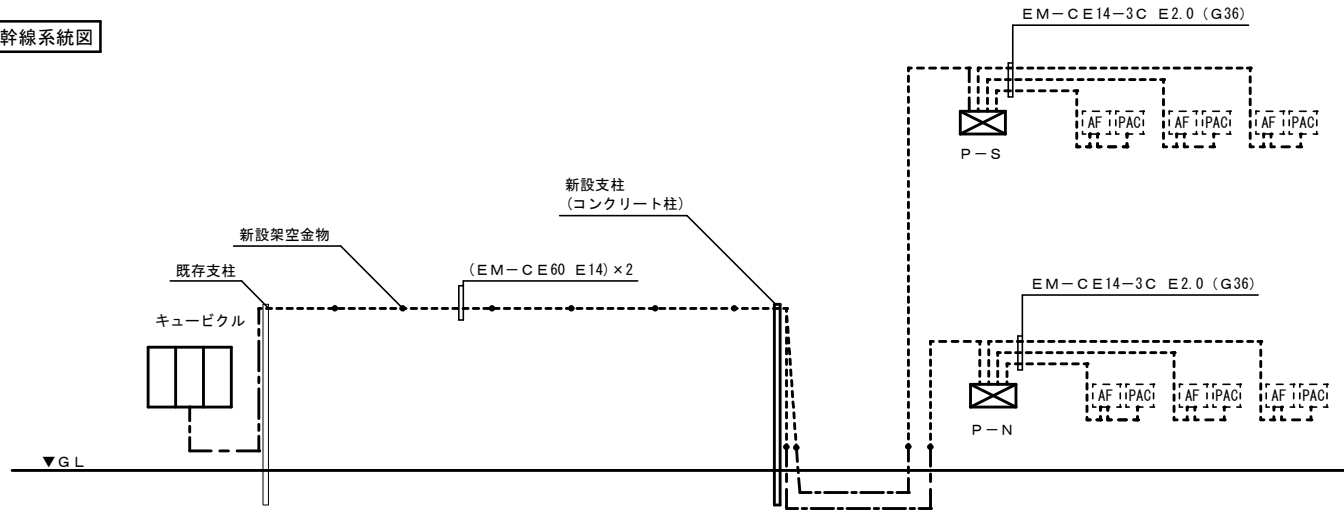
※前面下部に接続端子台を設置する事
※(()) 既存ケーブル敷設替え

※前面下部に接続端子台を設置する事

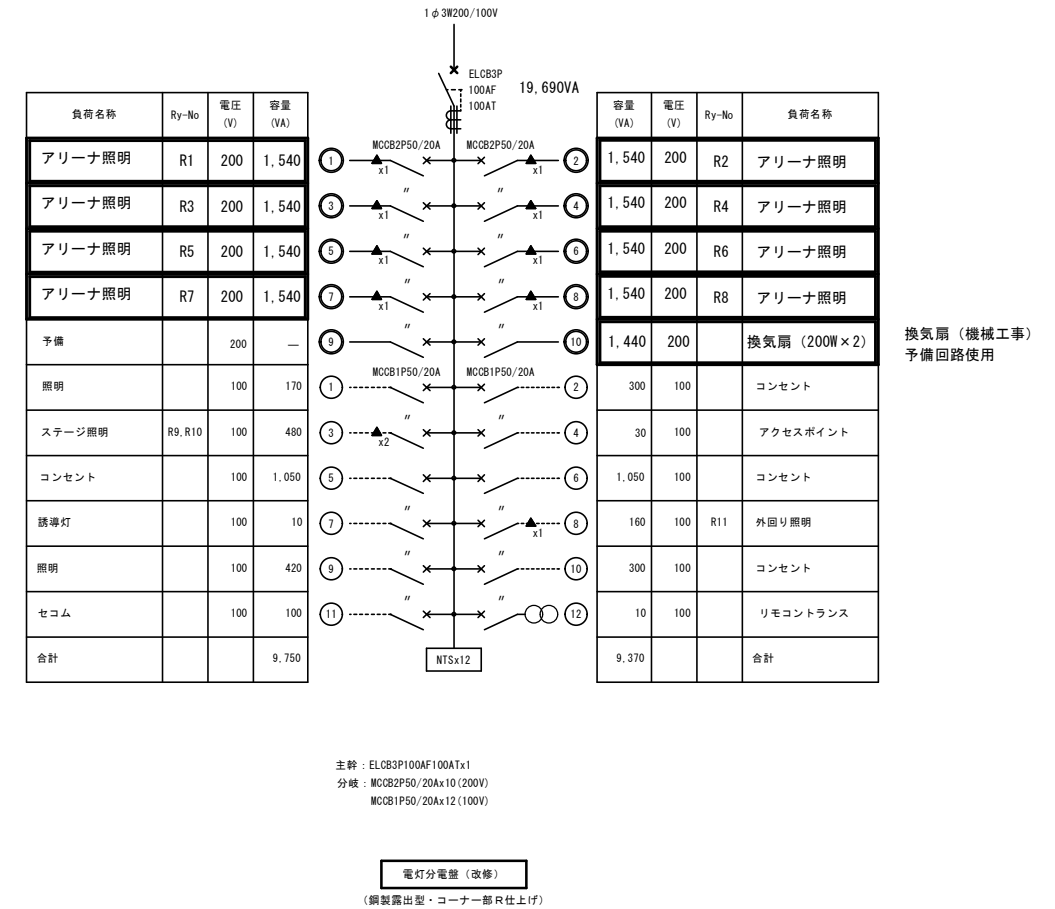
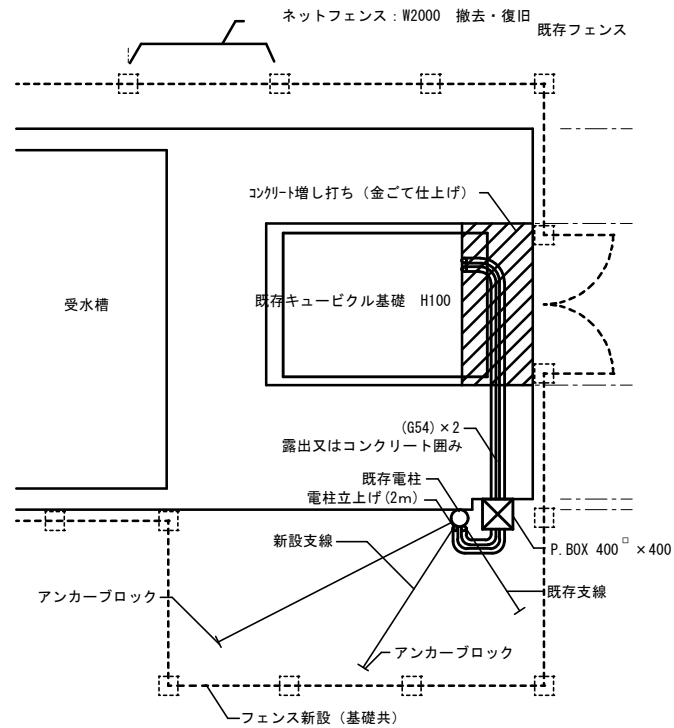
追記
※変電所の更新工事には学校担当者として十分に協議を行うこと



幹線系統図

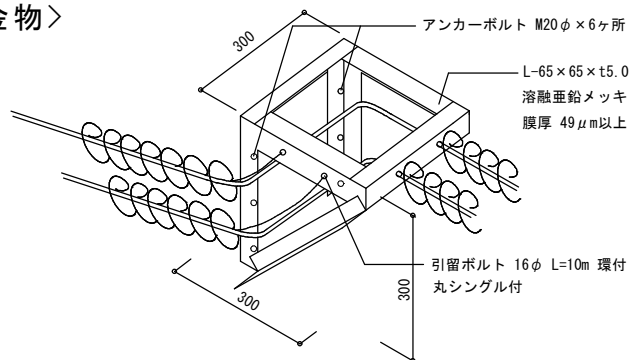


キュービクル廻り詳細図 (参考)

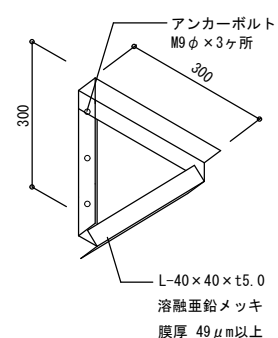


架空金物詳細図

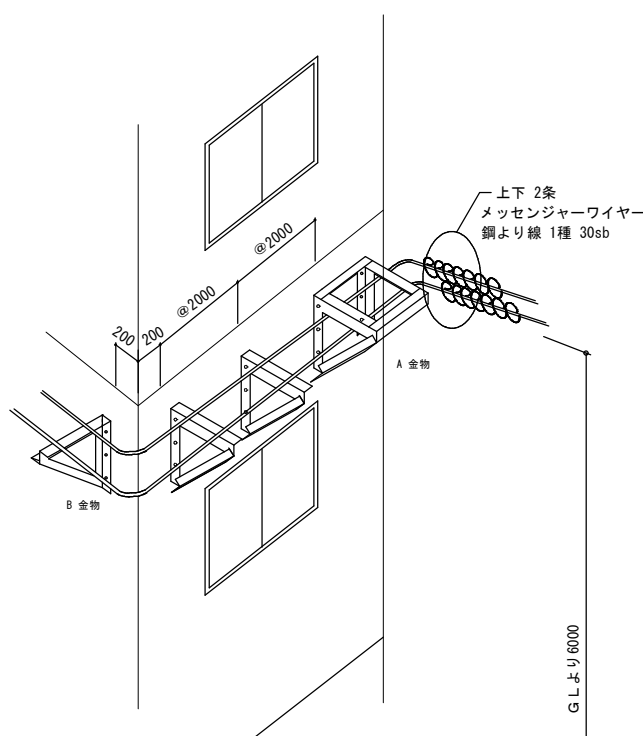
<A金物>



<B金物>

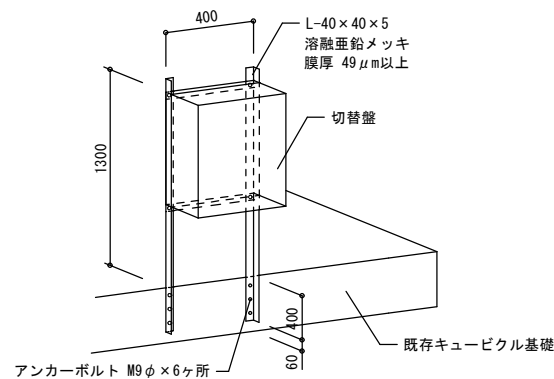


架空金物：壁面取付 詳細図



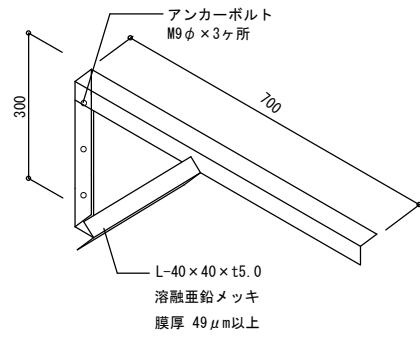
※アンカーボルトを打込む際に、鉄筋探査をすること。

切替盤 詳細図

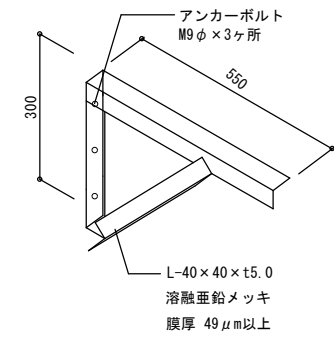


<C金物>

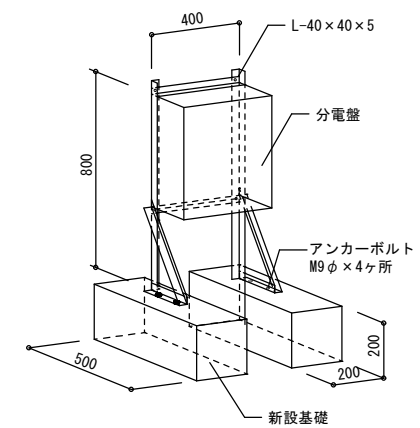
雨水管廻りのみ



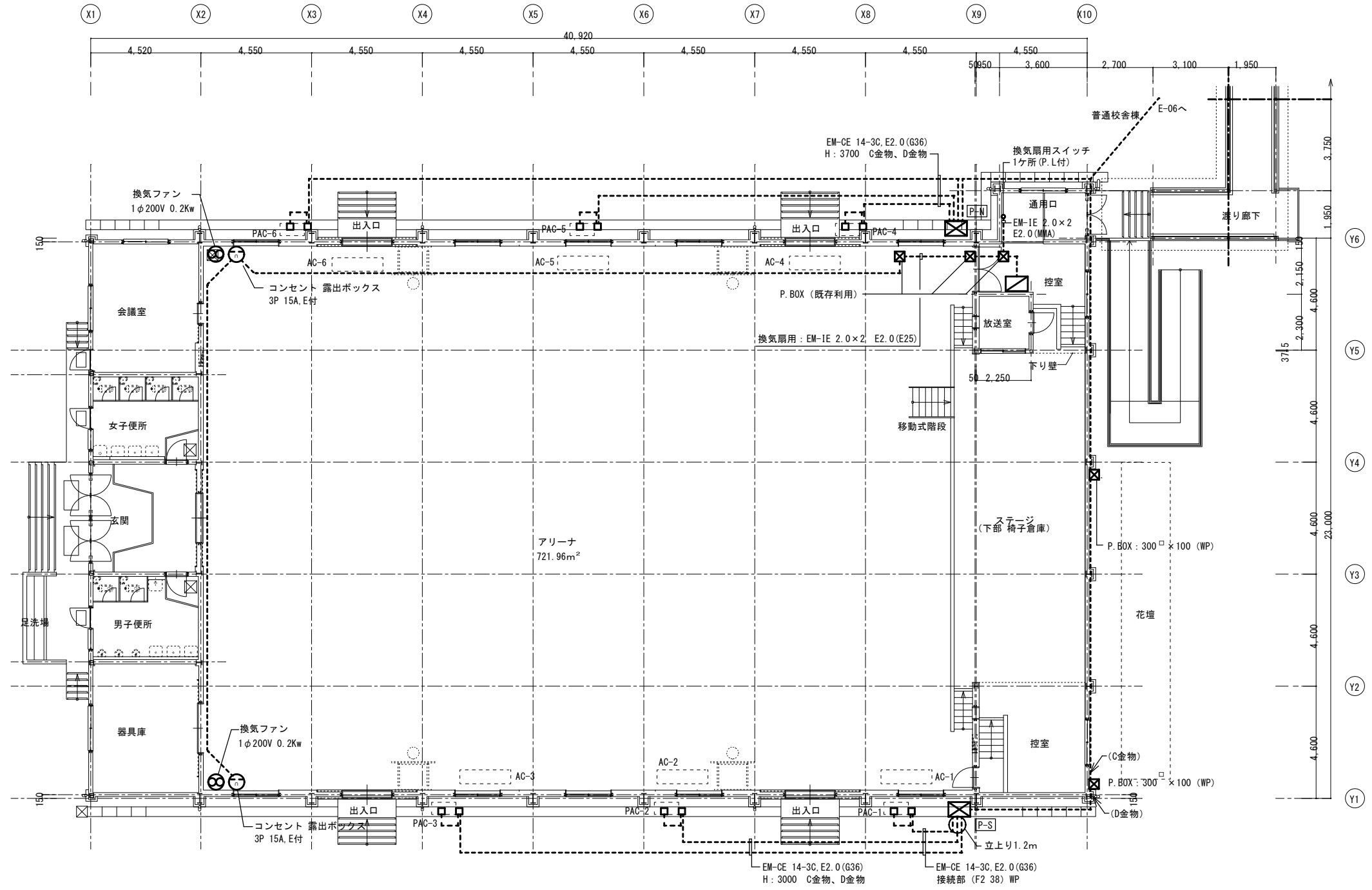
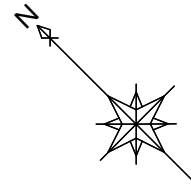
<D金物>

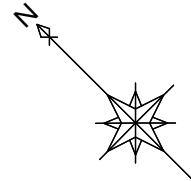


分電盤設置詳細図



※屋外盤、P. BOXはツバ付とする





改修	LSR2M-170
高天井用照明器具	

光束21300lm、消費電力112W、電圧100~242V
 昼白色、5000K、Ra70、輝度規制形中角、直付型
 光源寿命60000時間（光束維持率85%）
 本体：アルミ、パネル：ポリカーボネイト（透明）
 アーム：亜鉛鋼板
 LED内蔵・電源ユニット内蔵
 落下防止ワイヤー付

凡例

記号	機器名称	仕様
	高天井用器具	高天井用 LED
	既存維持器具を示す	

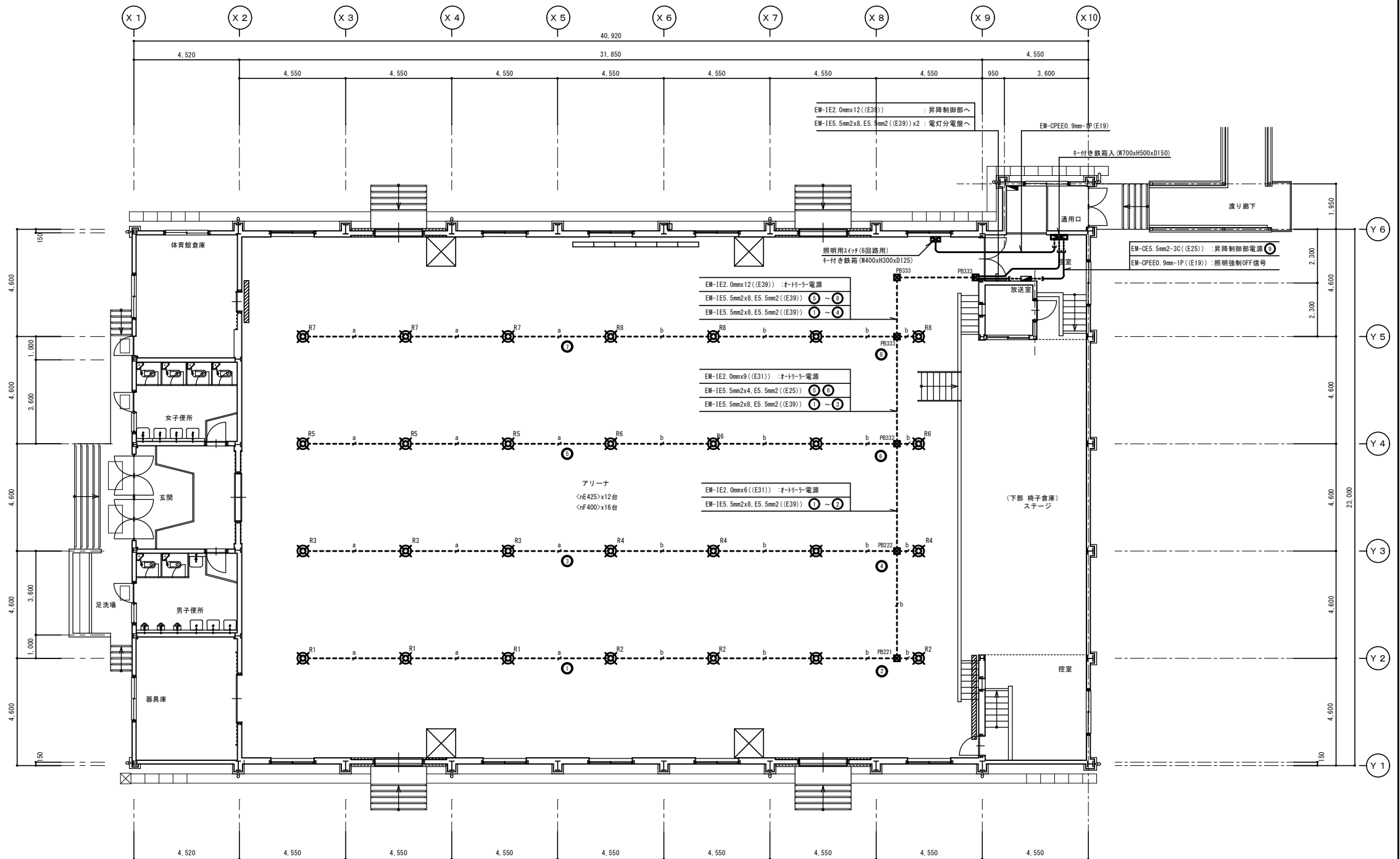
1. 特記なき配線配管は下記による。

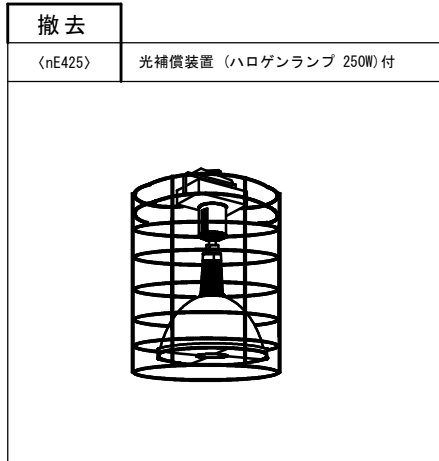
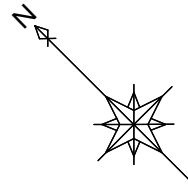
--- a --- EM-1E5.5x2.E5.5((E25))+EM-1E2.0x3((E19))

--- b --- EM-1E5.5x4.E5.5((E25))+EM-1E2.0x3((E19))

--- --- 既存維持配管配線を示す

2. ※印の配線配管、配線器具及び照明器具は、耐震補強工事とし、
 その他の新設工事は改修工事とする。

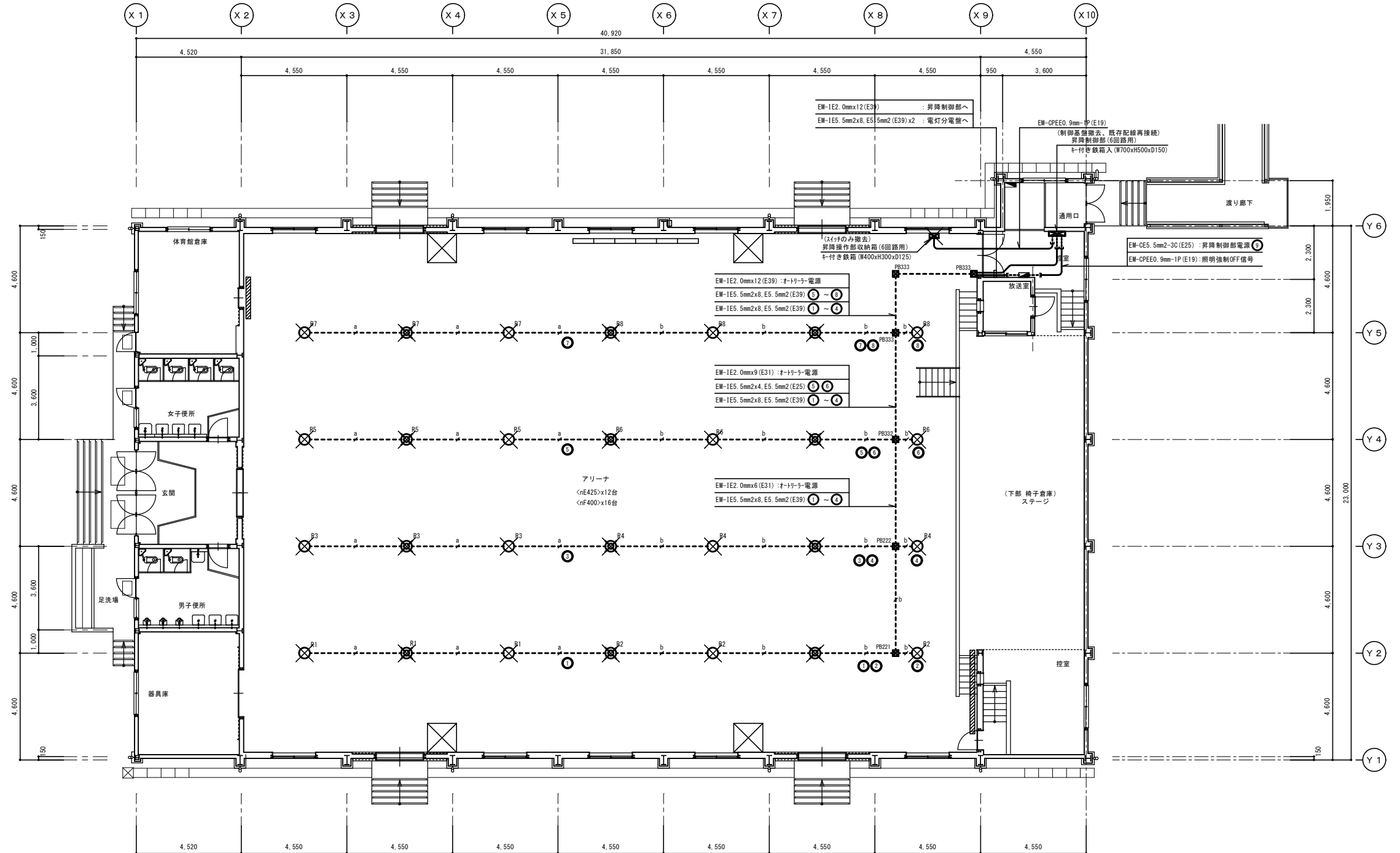




凡例

記号	機器名称	仕様
	高天井用器具	MF400W 光補償装置付
	高天井用器具	MF400W
	直付型LED灯	FL40Wx2灯用相当
	直付型LED灯	FL40Wx1灯用相当
	直付型LED灯	FL20Wx1灯用相当
	避難口誘導灯	LED C級
	リモコンスイッチ	2線式 11回路用
	プルボックス	300x300x300 (SS)
	プルボックス	300x300x200 (SS)
	プルボックス	200x200x200 (SS)
	プルボックス	200x200x100 (SS)
	プルボックス	150x150x100 (SS)
	フラッシュプレート	角形 ノズル・ブランク
	既存維持器具を示す	

- 特記なき配線配管は下記による。
ケーブル、配管は残置
- オートリフター用配線は切離し、
指定配管配線以外の配線、配管は残置。



× ... 撤去器具

体育館 新設機器表

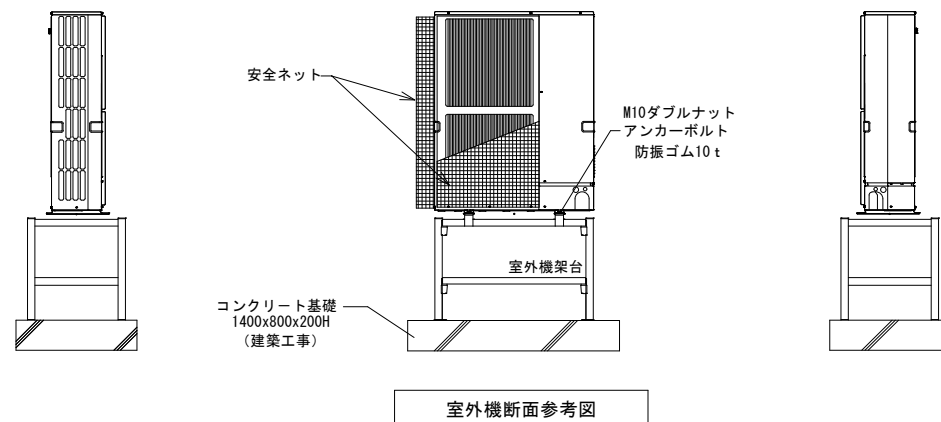
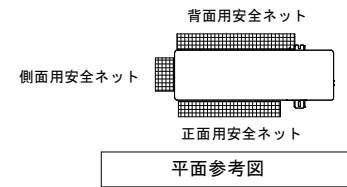
空冷ヒートポンプパッケージエアコン

記号	機器名称 (系統名)	仕様	冷媒	APF	風量 m ³ /h	重量 kg	電気仕様				数量	設置場所	備考 (参考型番)	
							相	V	圧縮機	送風機				電力消費量 (冷房/暖房)
									kW	kW				
PAC-1	エリア空調機 (アリーナ系統)	室外機 : ペアタイプ、冷暖房切替運転 耐震1.0G 冷房能力 : 25.0kW 暖房能力 : 28.0kW10HP相当 冷媒管 : 12.7φ、25.4φ 付属品 : アクティブフィルター、フィンガード (安全ネット)、架台 防振ゴム 室内機 : 壁掛設置 冷房能力 : 25.0kW 暖房能力 : 28.0kW冷媒管 : 12.7φ、25.4φドレン管 : 25 付属品 : 吹出ルーバ、リモコン、遠方発停用アダプタ ドレン管 : 屋内 : 保温付 (ACドレン) 屋外 : VP、配管取付用弁トラップ設置	R32	4.2	-	117	3	200	6.0	0.4	8.24/7.29	6組	屋外	コンクリート基礎 屋外3φ200V電源 KBHP-ZP280-K
					4,800	78	1	200	0.588x2	-	(6)	アリーナ	壁支持鋼材 防球ガード Z1-P280-3	

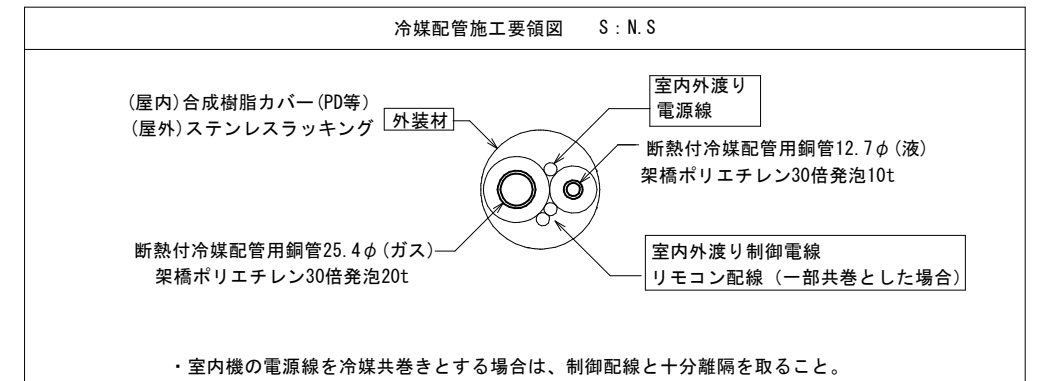
特記事項 1. 機器の能力・容量は表示された数値以上とする。
2. 個別リモコンの設定は運転/停止・運転モード切替・温度設定とする。
3. 室内機壁掛取付用鉄骨架台及び防球カバーは、取付共本工事とする。
4. 室外機のコンクリート基礎は本工事とする。
5. 空調機への一次側電源供給は本工事とする。

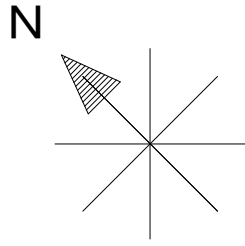
新設 換気機器表

記号	名称	仕様	台数	動力			設置場所	備考 (参考型番)
				φ	V	kW		
EF-1	有圧換気扇	型式 : 有圧換気扇 (低騒音形・排気タイプ) 能力 : 400φ × 3,300 m ³ /hx50Pa 風圧式シャッター 付属品 : バックガード、銅板製ウェザーカバー防鳥網付	2	3	200	0.2	アリーナ、窓アルミパネル	EFW-40DTA



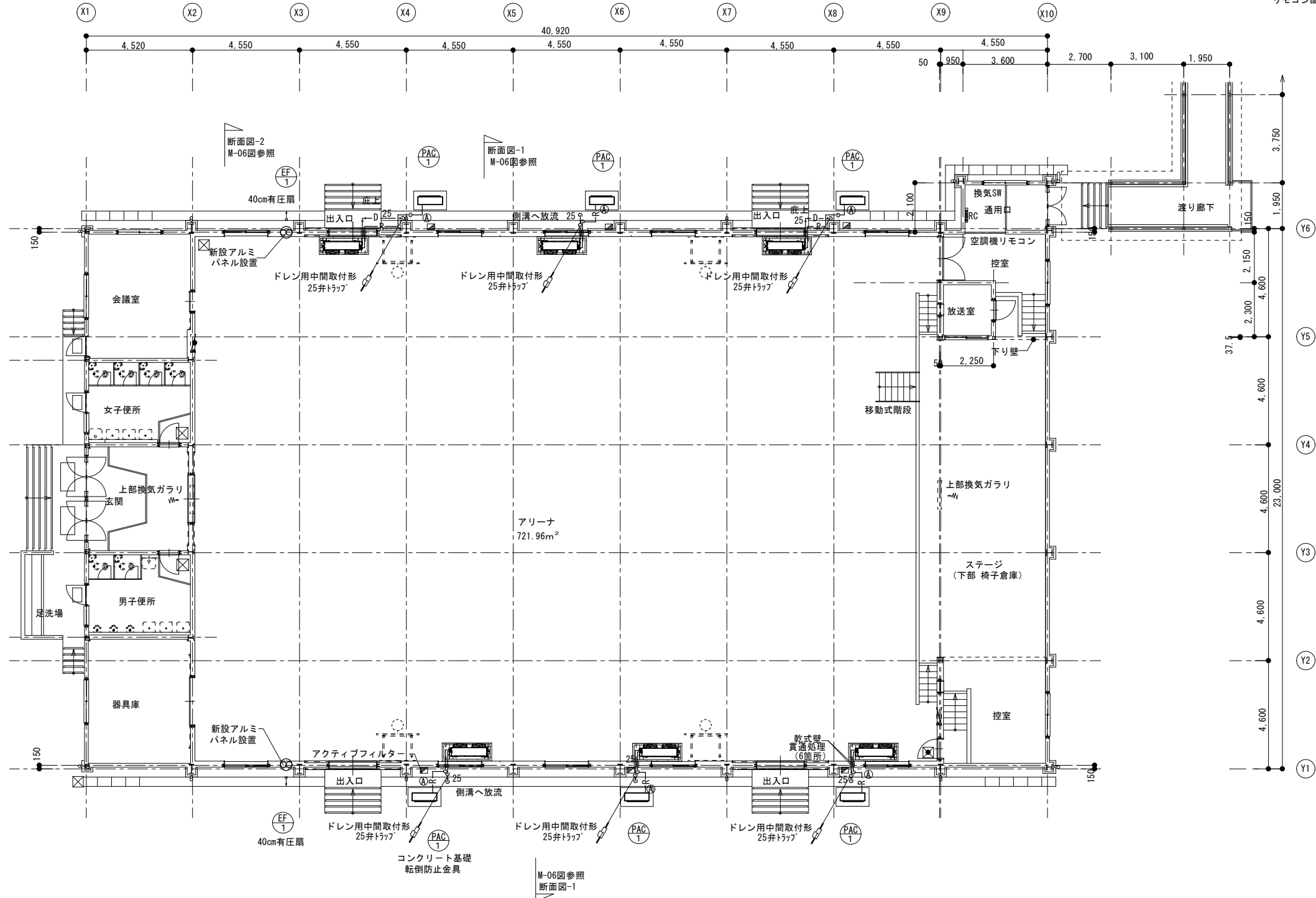
※建築基礎は水勾配を付けるため、機器下はモルタルにて水平をとること。





冷媒管サイズ一覧表		
パッケージエアコン (PAC)		
記号	冷媒管サイズ	渡り配線 (冷媒管共巻)
(A)	12.7φ、25.4φ	EM-CE3.5 ^φ -3C x2

リモコン配線EM-CEE1.25^φ-2C

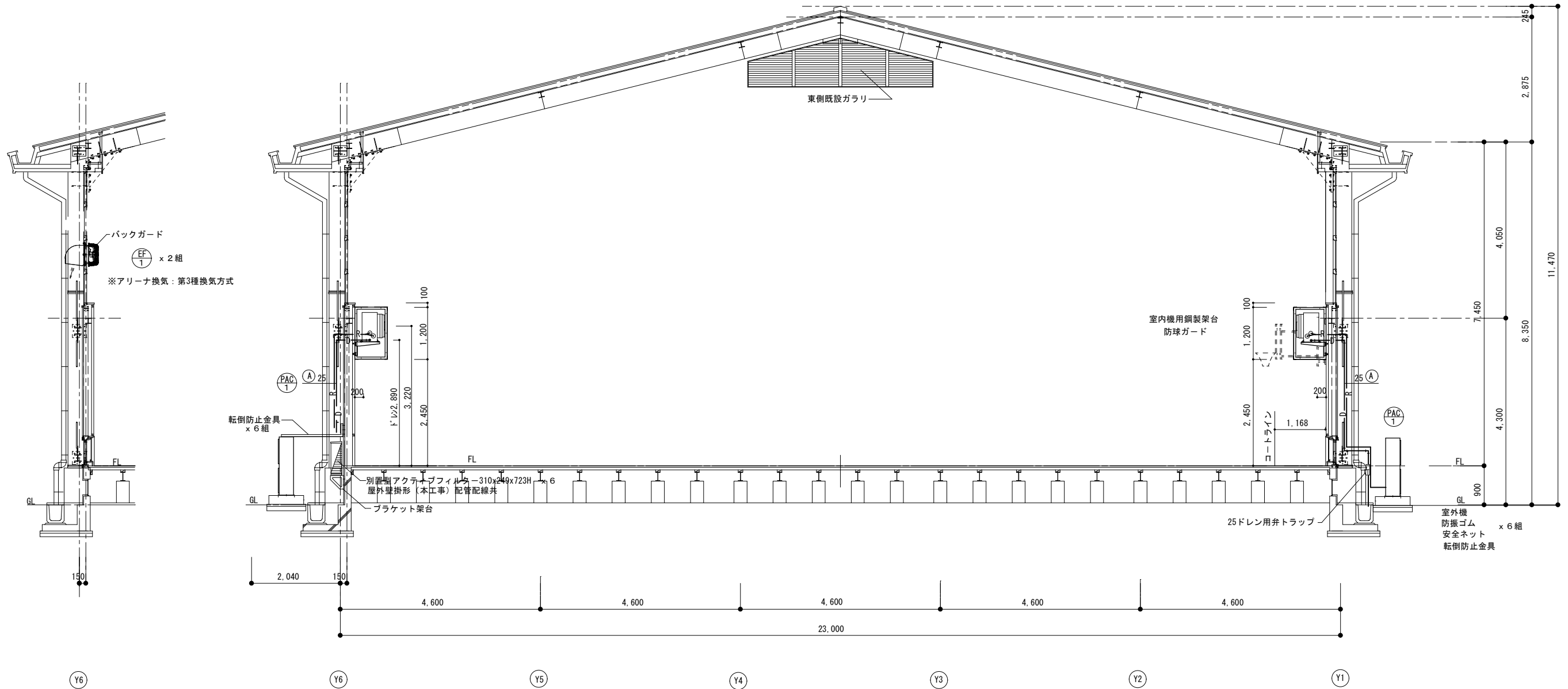


凡例表

記号	名称	新設使用材料
— R —	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管 (保温仕様: 架橋ポリエチレン30倍発泡) 液管: 保温厚10mm以上 (呼び径9.52mm以下は8mm)、ガス管: 保温厚20mm以上 保温外装: 屋外露出部: ステンレスラッキング、屋内露出部: 樹脂カバー (PD等)
— D —	ドレン管	屋内露出: 保温機能付空調用ドレン管 (AC-VP) 屋外露出: 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラーVP)
☐	ドレン用弁トラップ	ドレン用中間取付形弁トラップ

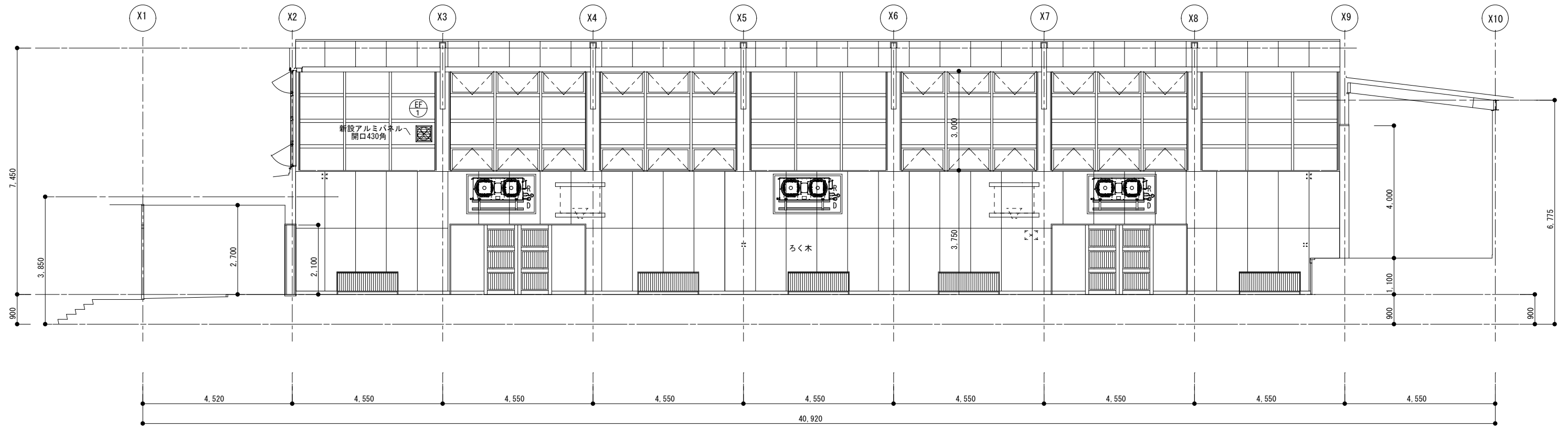
1階平面図 S=1:200

注記: □ 別置型アクティブフィルター
屋外壁掛形 (本工程) 配管配線共

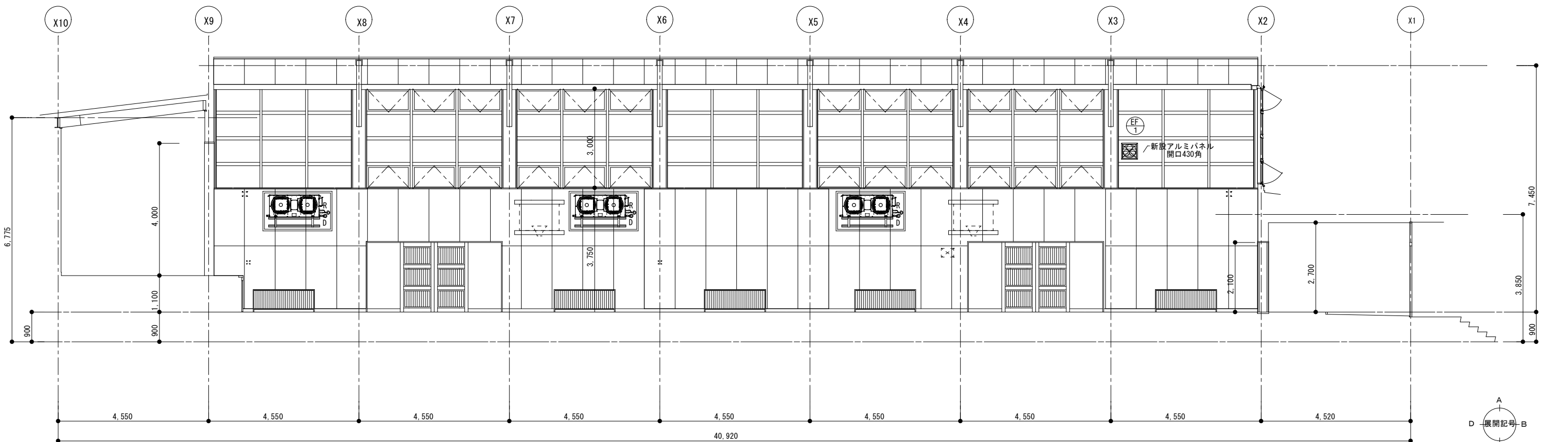


断面図2 S=1:100

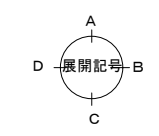
断面図1 S=1:100



展開図 1 (A面) S=1:120
A アリーナ

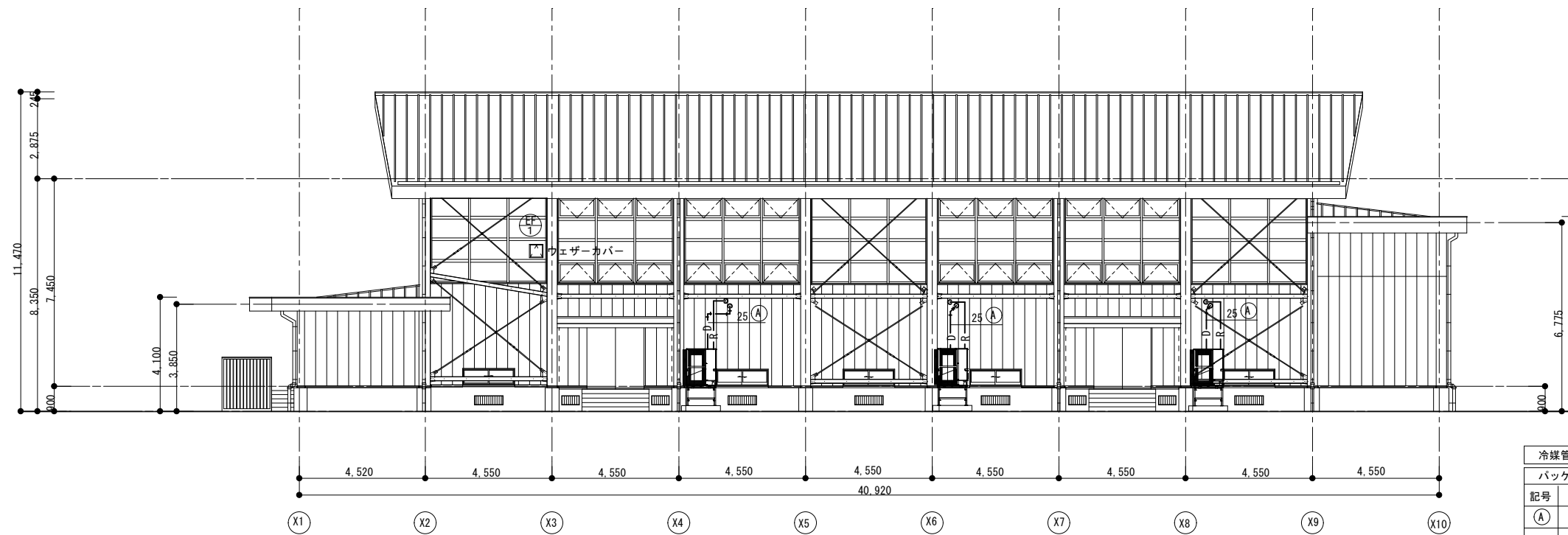


展開図 1 (C面) S=1:120
C アリーナ



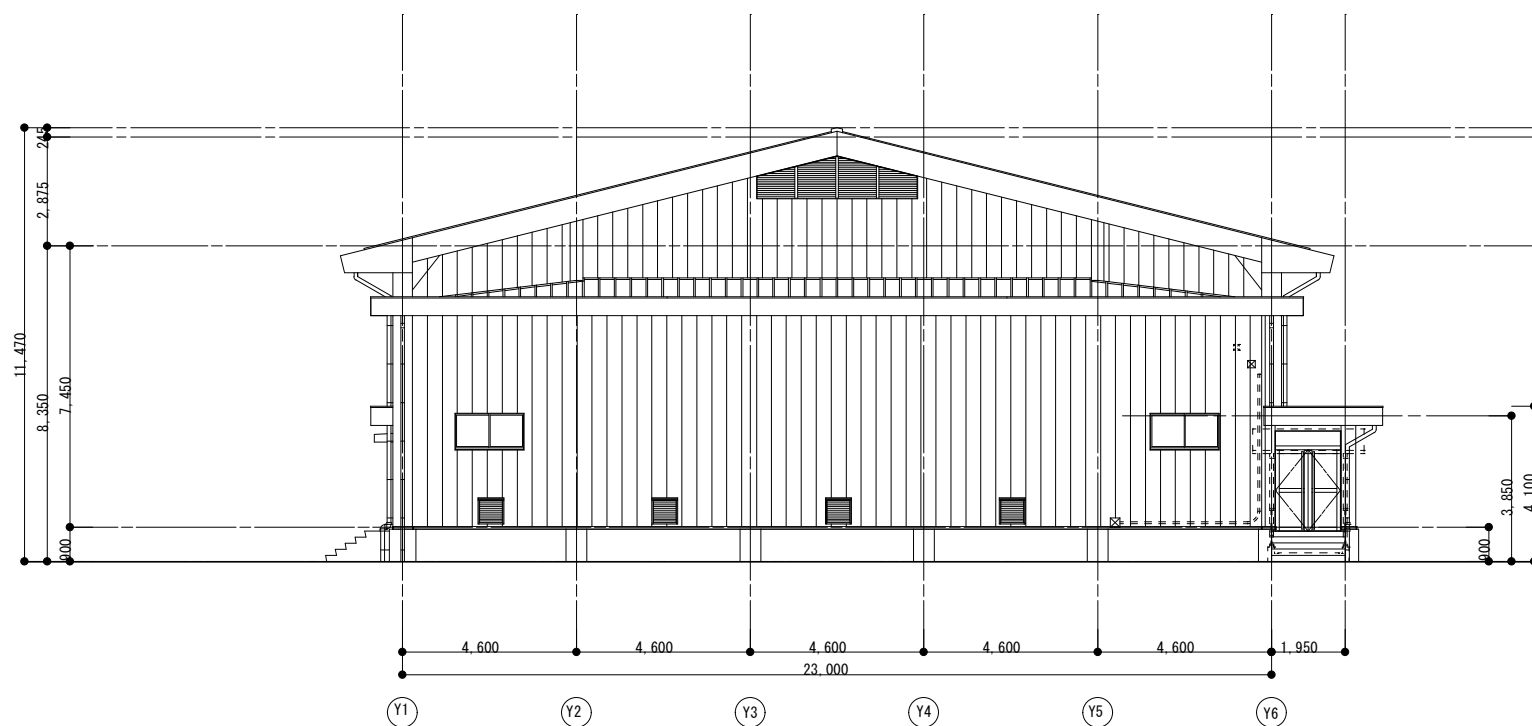


西側立面図 S=1:200

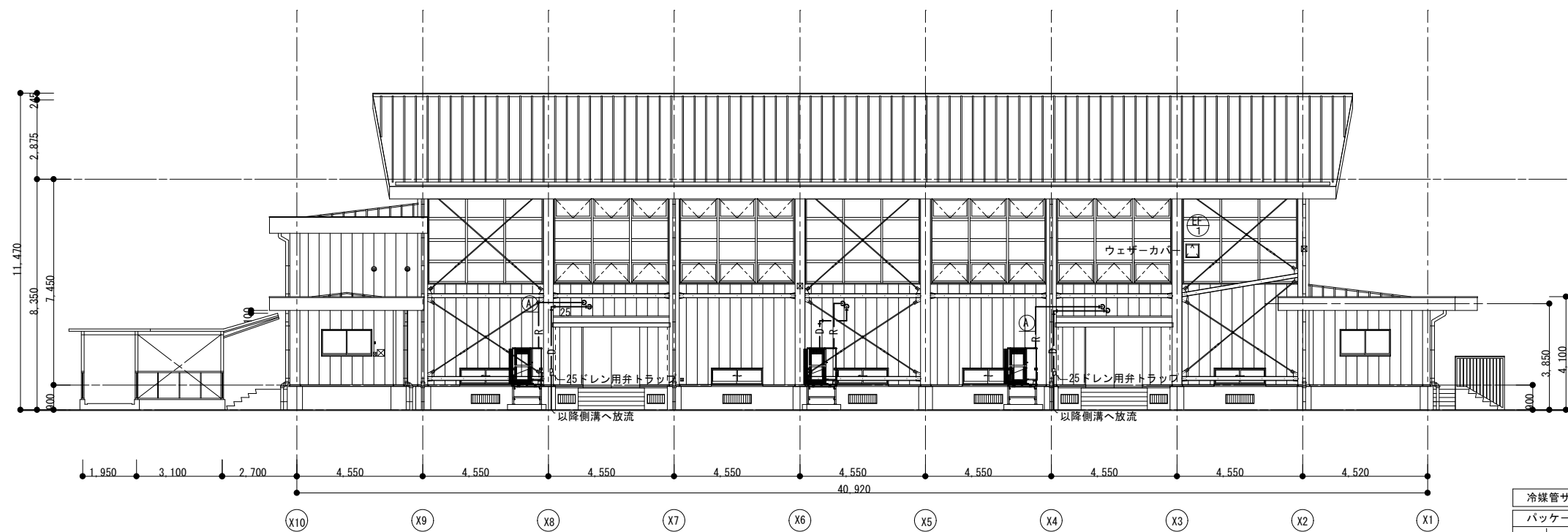


南側立面図 S=1:200

パッケージエアコン (PAC)		
記号	冷媒管サイズ	渡り配線 (冷媒管共巻)
(A)	12.7φ、25.4φ	EM-CE3.5 ^o -3C x2

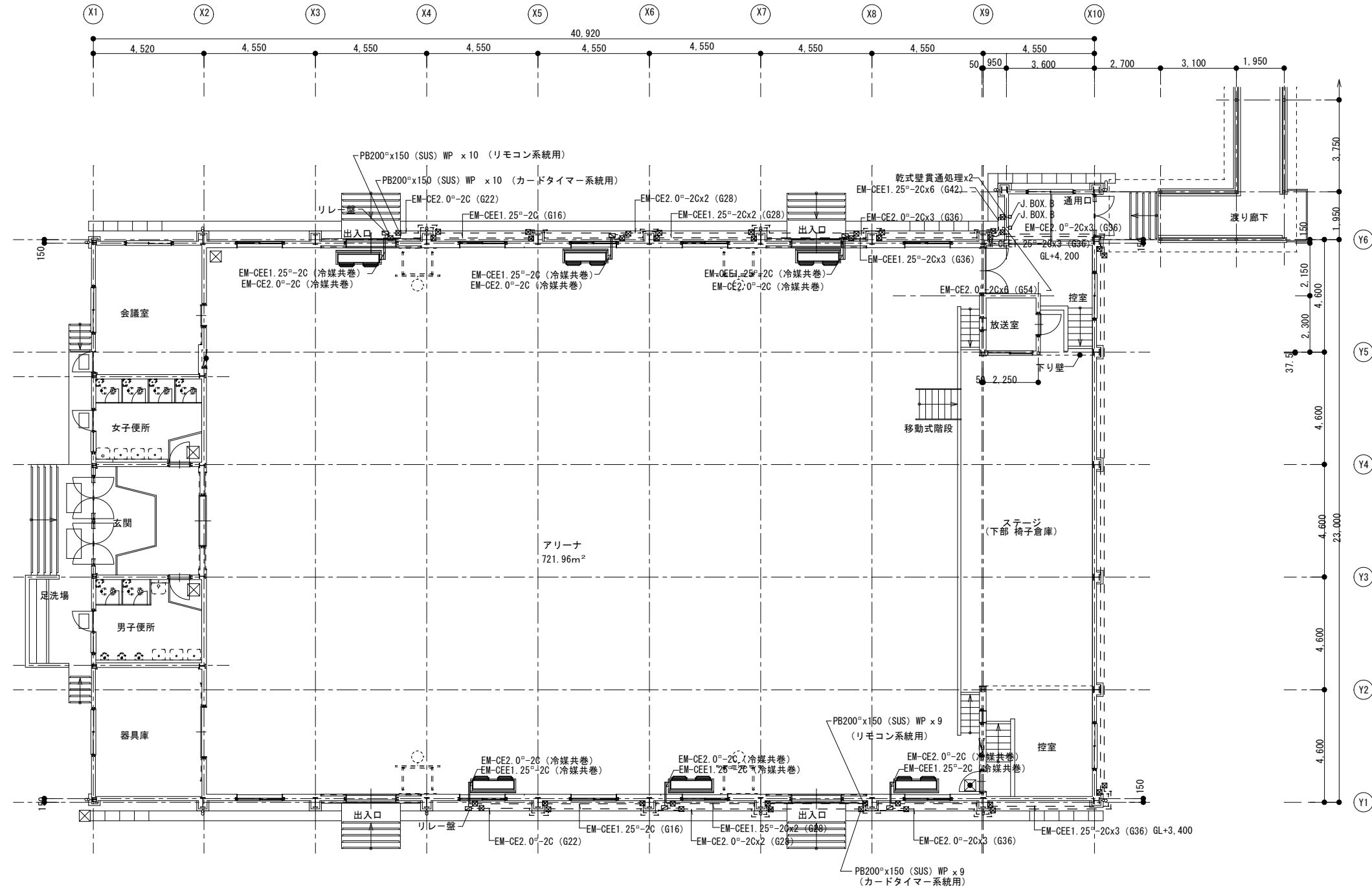
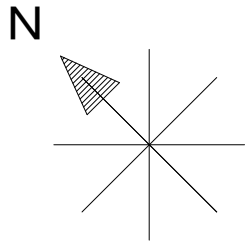


東側立面図 S=1:100



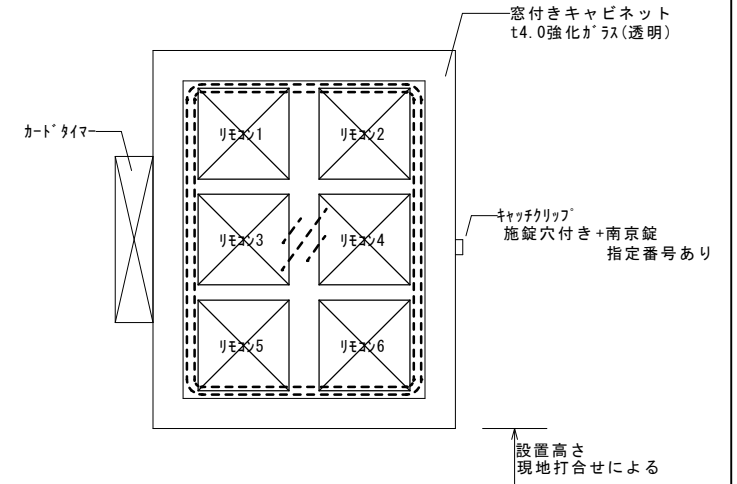
北側立面図 S=1:200

冷媒管サイズ一覧表		
パッケージエアコン (PAC)		
記号	冷媒管サイズ	渡り配線 (冷媒管共巻)
Ⓐ	12.7φ、25.4φ	EM-CE3.5"-3C x2

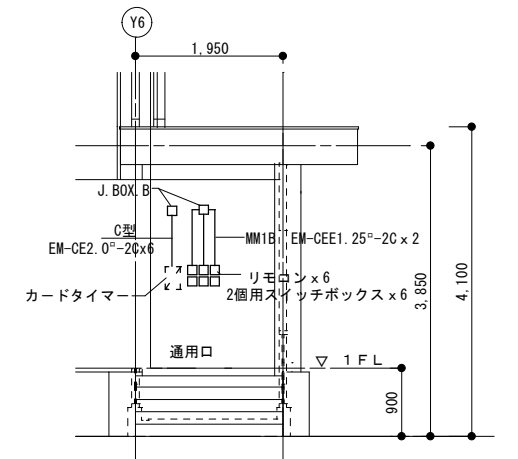


1階平面図 S=1:200

■ ブルボックス
□ リレー盤 x6



リモコン設置詳細図 S=1:10



リモコン廻り立面図 S=1:100